

# 第 4 4 回 市政世論調査 ※抜粋

(平成 29 年度)

政令指定都市・区政移行

10周年



新 潟 市



## 1. 調査の目的

この調査は、市民生活の現状、市民の市政に対する要望、意識、関心度などを把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施する。

## 2. 調査の項目

(1) 対象者属性	本質問 5 問
(2) 都市緑化、身近な公園について	本質問 5 問
(3) 健康寿命について	本質問 8 問
(4) 生涯を通じた学習について	本質問 8 問
(5) 移動しやすいまちづくりについて	本質問 7 問
(6) 市政全般と区政について	本質問 1 問
(7) 市の取り組みに対する感想	本質問 1 問

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 29 年 6 月末現在の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の市民
- (3) 標本数：4,000 人
- (4) 抽出方法：層化二段系統抽出法（電子計算機マスターファイルからの等間隔抽出）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配付、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 29 年 7 月 21 日～8 月 7 日

## 4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は単位未満を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

## 5. 回収結果

### (1) 区（行政区）について

新潟市は平成19年4月の政令指定都市移行にともない8つの区（行政区）を設置している。

今回の調査では、対象者の居住地を8つの「区（行政区）」（次頁区分図参照）に分け、集計・分析を行った。

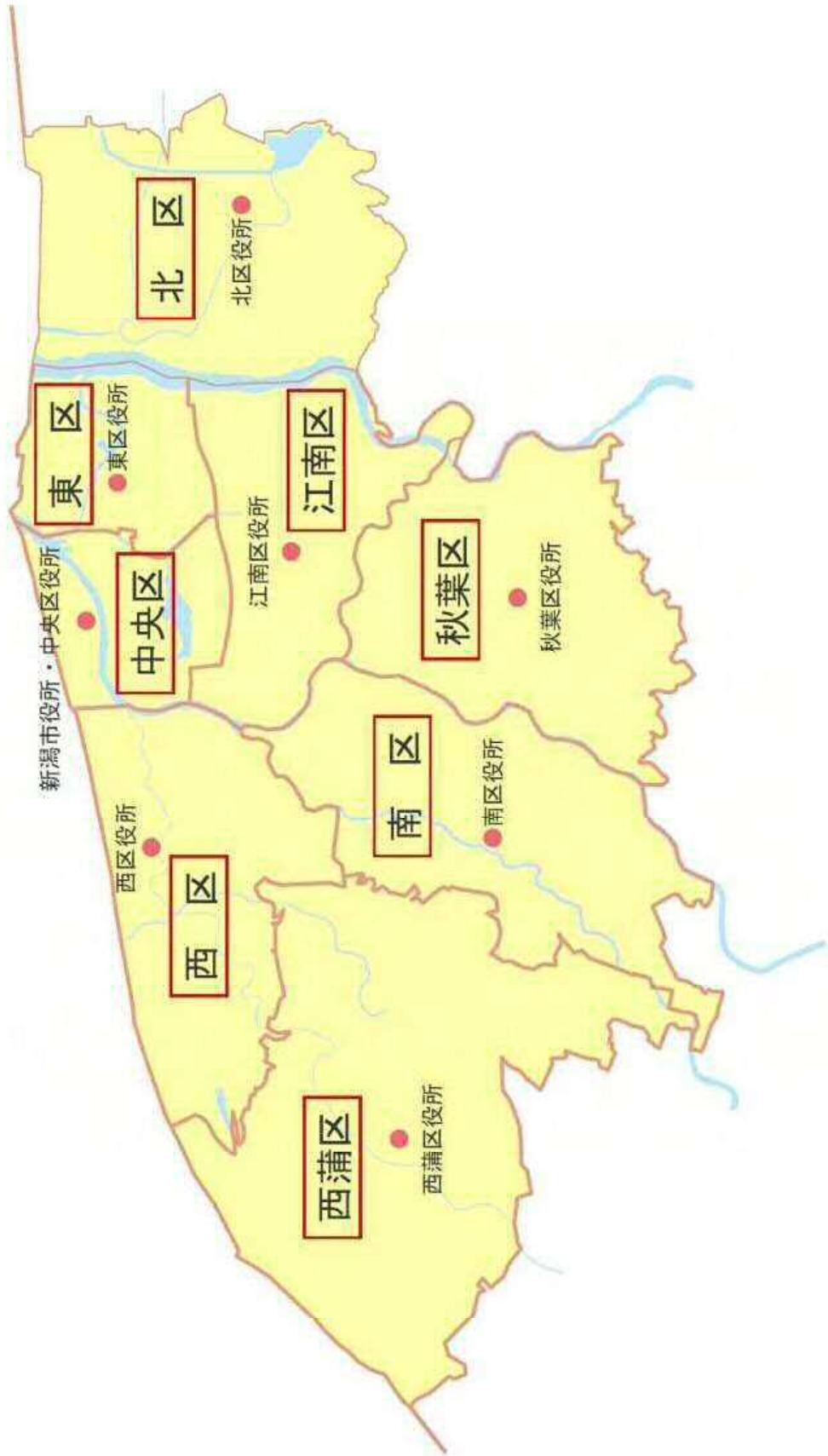
### (2) 回収結果

	母集団 (人)	母集団 構成比	標本数 (人)	有効 回収数	有効 回収率
市全体	673,405	100.0%	4,000	1,801	45.0%
北 区	63,439	9.4%	376	162	43.1%
東 区	116,340	17.3%	691	304	44.0%
中 央 区	149,498	22.2%	888	414	46.6%
江 南 区	57,829	8.6%	344	151	43.9%
秋 葉 区	65,309	9.7%	388	165	42.5%
南 区	38,773	5.8%	230	94	40.9%
西 区	132,203	19.6%	785	364	46.4%
西 蒲 区	50,014	7.4%	298	126	42.3%
区名無回答				21	

## 6. 区（行政区）の範囲

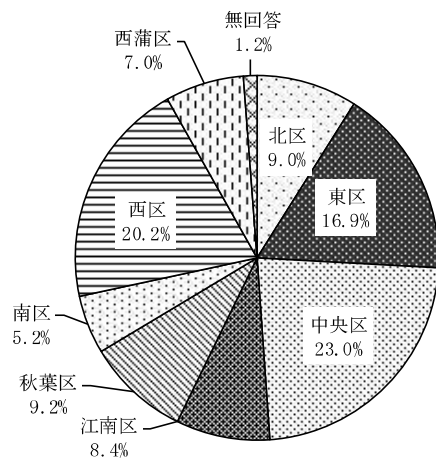
次頁区分図参照。

<区分图>

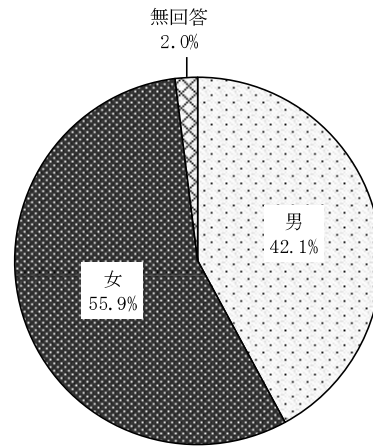


## 7. 回答者の特性

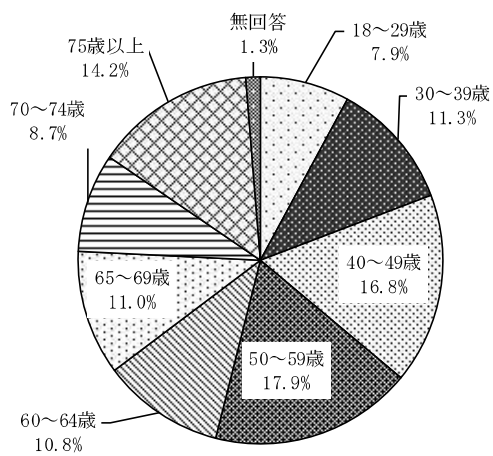
### ◆地区別



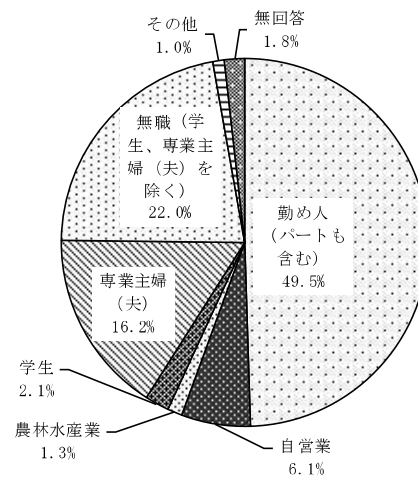
### ◆性別



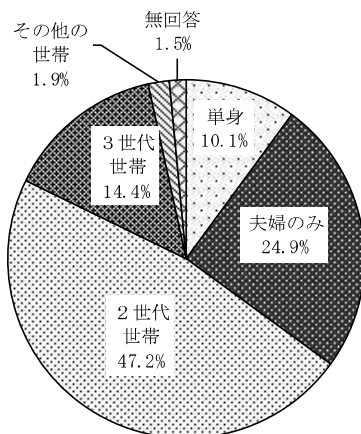
### ◆年齢別



### ◆職業別

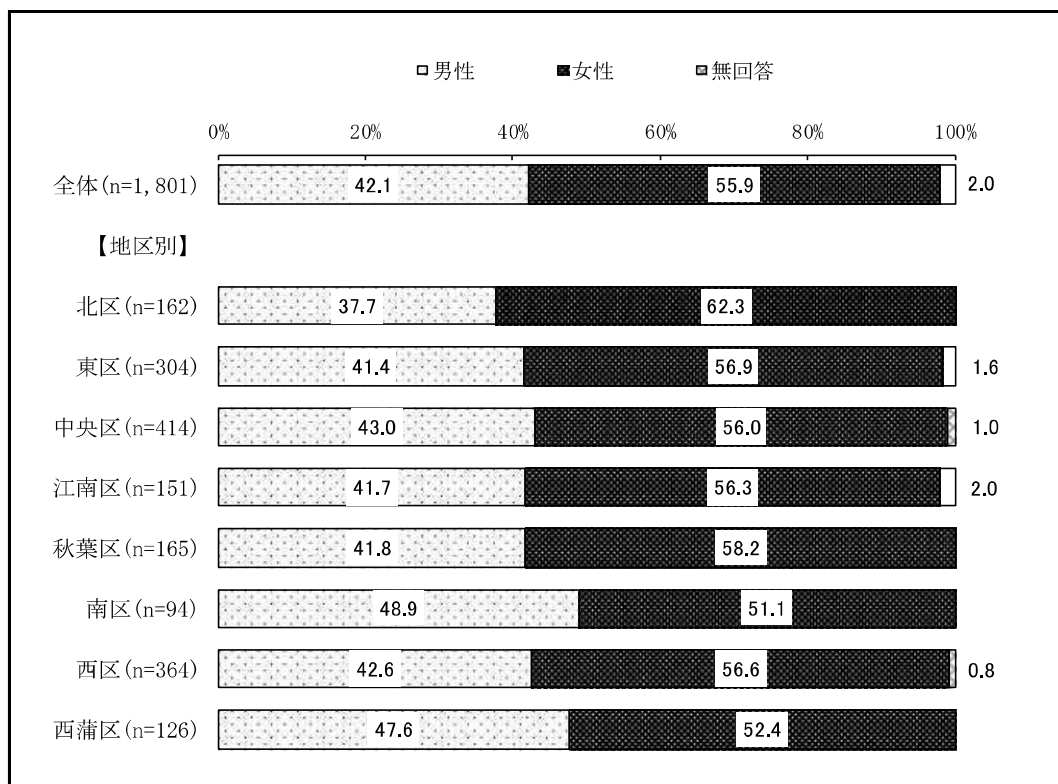


### ◆世帯構成別

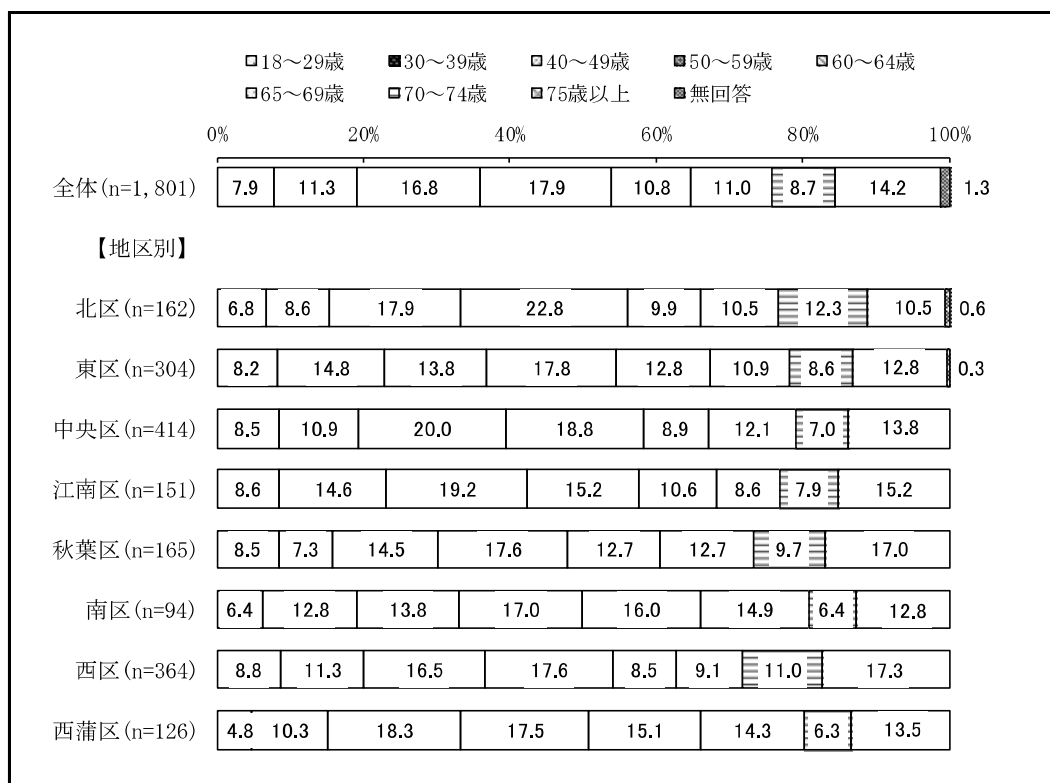


## 8. 回答者の特性（地区別集計）

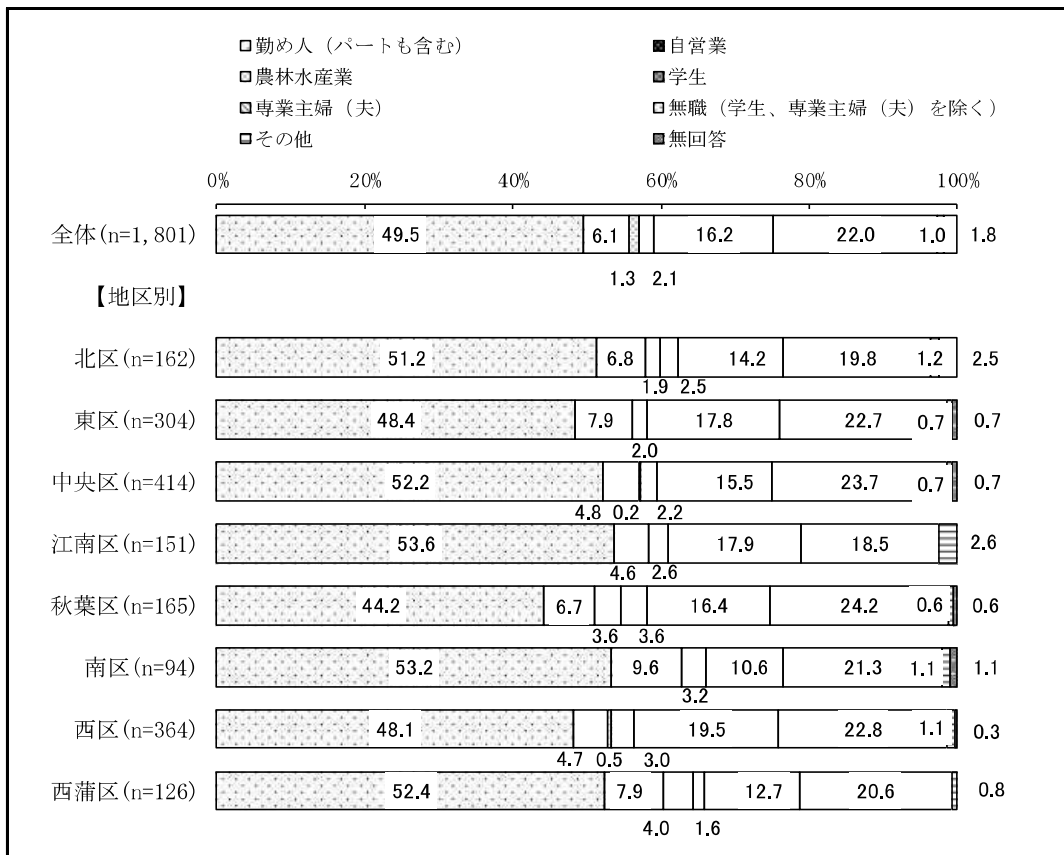
### 【性別】



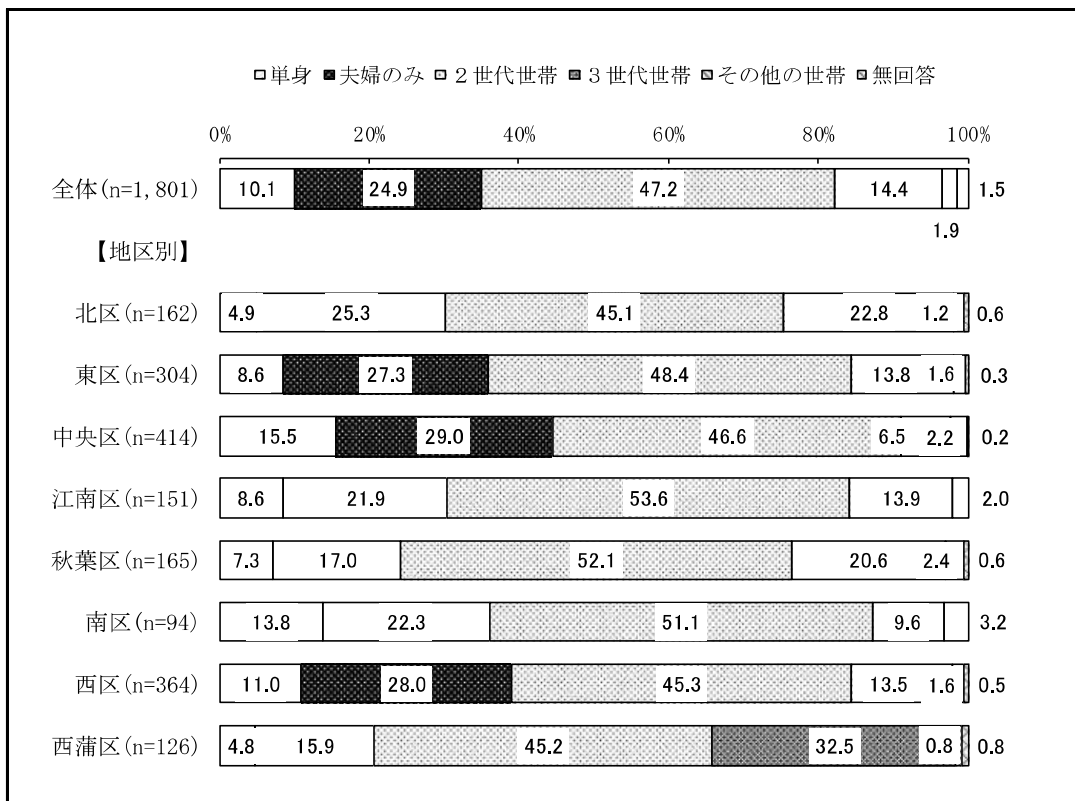
### 【年齢別】



【職業別】



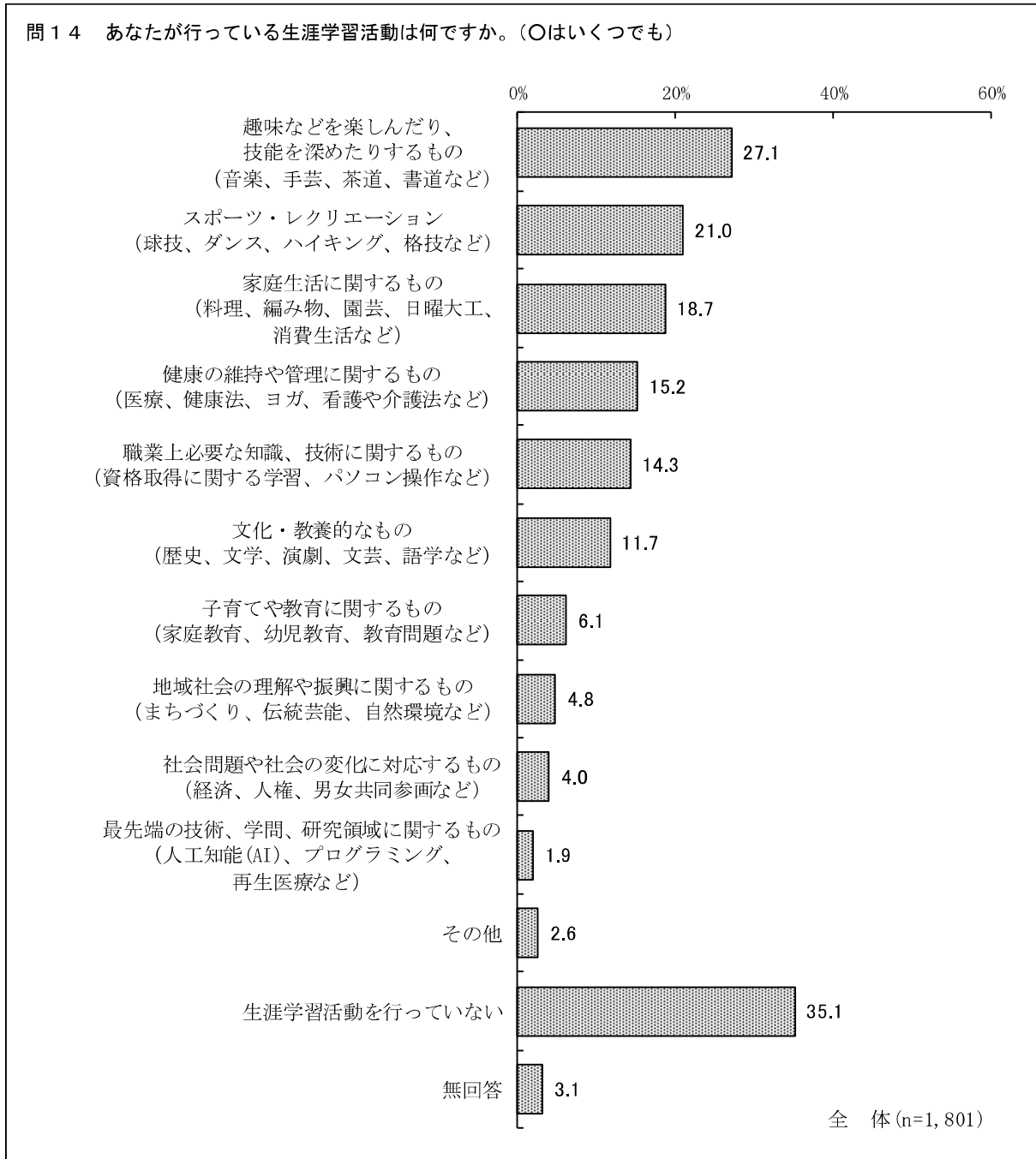
【世帯構成別】





### 3. 生涯を通じた学習について

#### (1) 行っている生涯学習活動



—— 「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」が最も多い ——

#### 【全体結果】

行っている生涯学習活動については、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」(27.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」(21.0%)、「家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など)」(18.7%)、「健康の維持や管理に関するもの(医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など)」(15.2%)が続いている。

## 【属性別結果】(図 3-1 参照)

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」については、秋葉区(34.5%)の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」、「家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など)」、「健康の維持や管理に関するもの(医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など)」の割合は、女性(それぞれ29.3%、21.6%、19.0%)の方が男性(それぞれ24.1%、14.5%、9.9%)よりも高くなっている。「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」と「職業上必要な知識、技術に関するもの(資格取得に関する学習、パソコン操作など)」の割合は、男性(それぞれ26.3%、18.6%)が女性(それぞれ17.2%、11.4%)よりも高くなっている。

### ③ 年齢別

「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」は18~29歳と70~74歳(それぞれ25.4%、26.1%)が、「職業上必要な知識、技術に関するもの(資格取得に関する学習、パソコン操作など)」は18~29歳と30代(それぞれ23.2%、24.0%)が、「子育てや教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)」は30代(17.6%)が、「家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など)」は70~74歳と75歳以上(それぞれ25.5%、24.2%)が、それぞれ他年齢層よりも高くなっている。

一方、「生涯学習活動を行っていない」では40代(41.6%)と60~64歳(42.3%)の割合が高く、4割を超えている。

図3-1 行っている生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 1/2

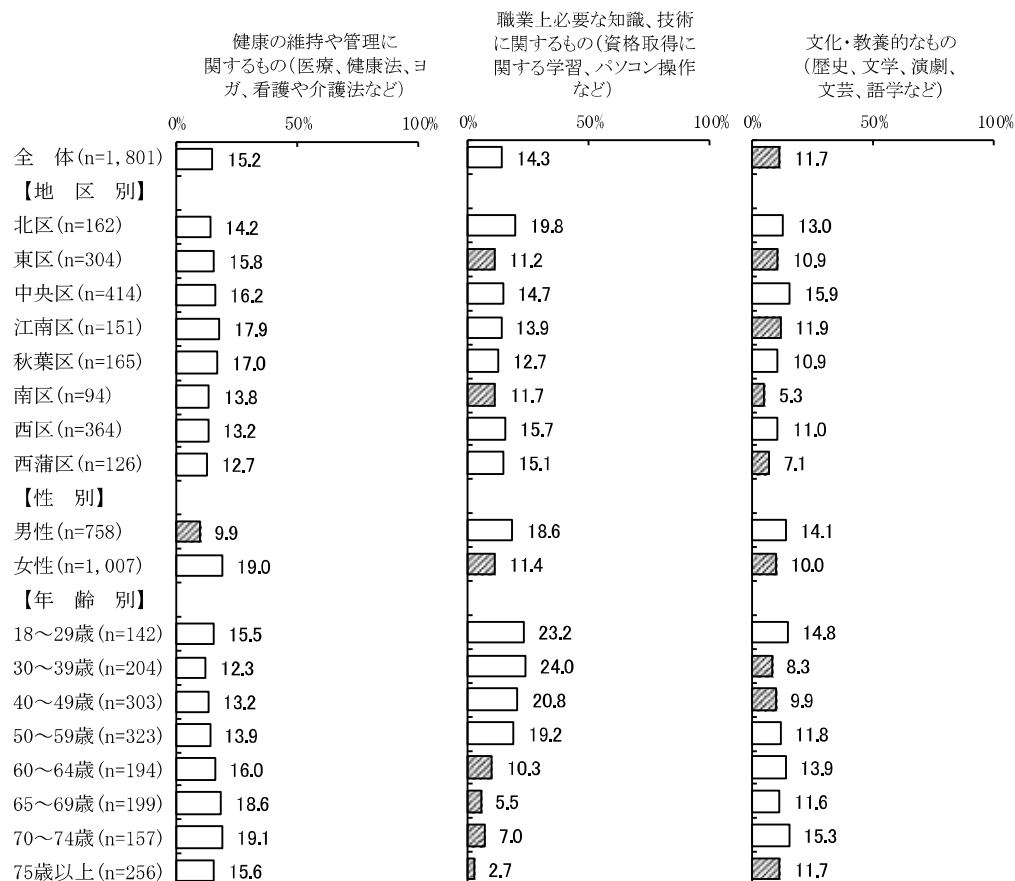
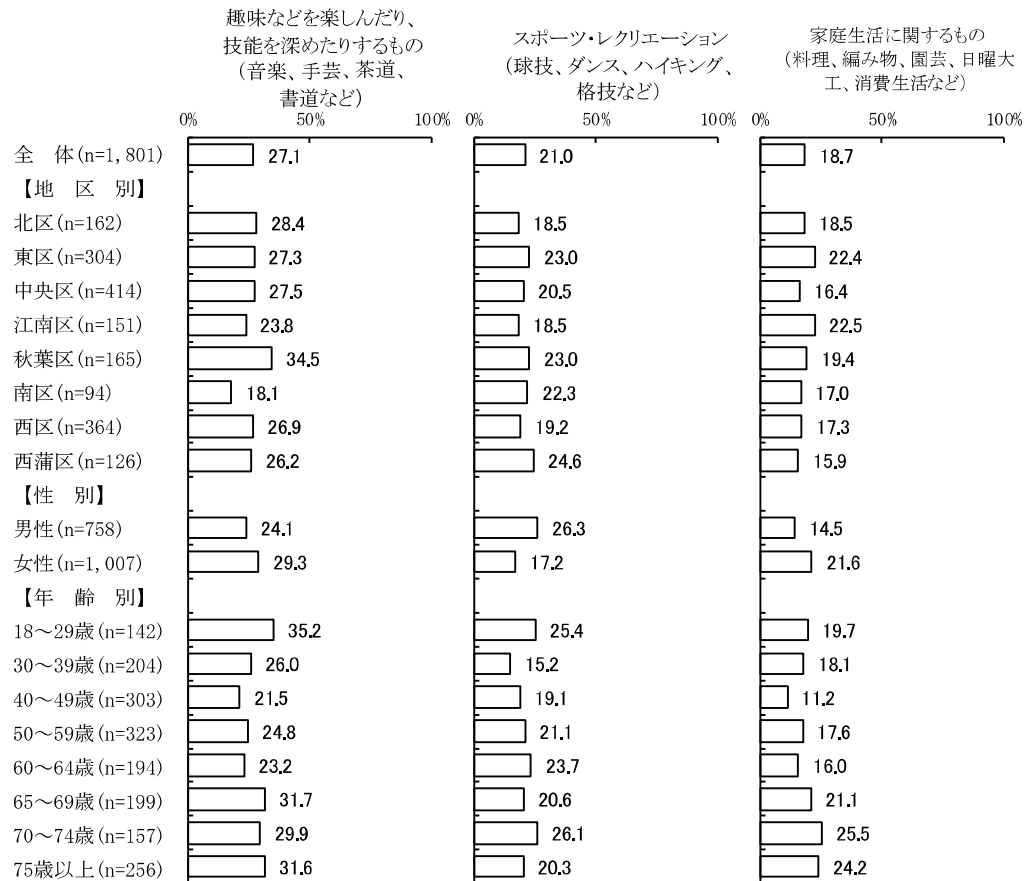
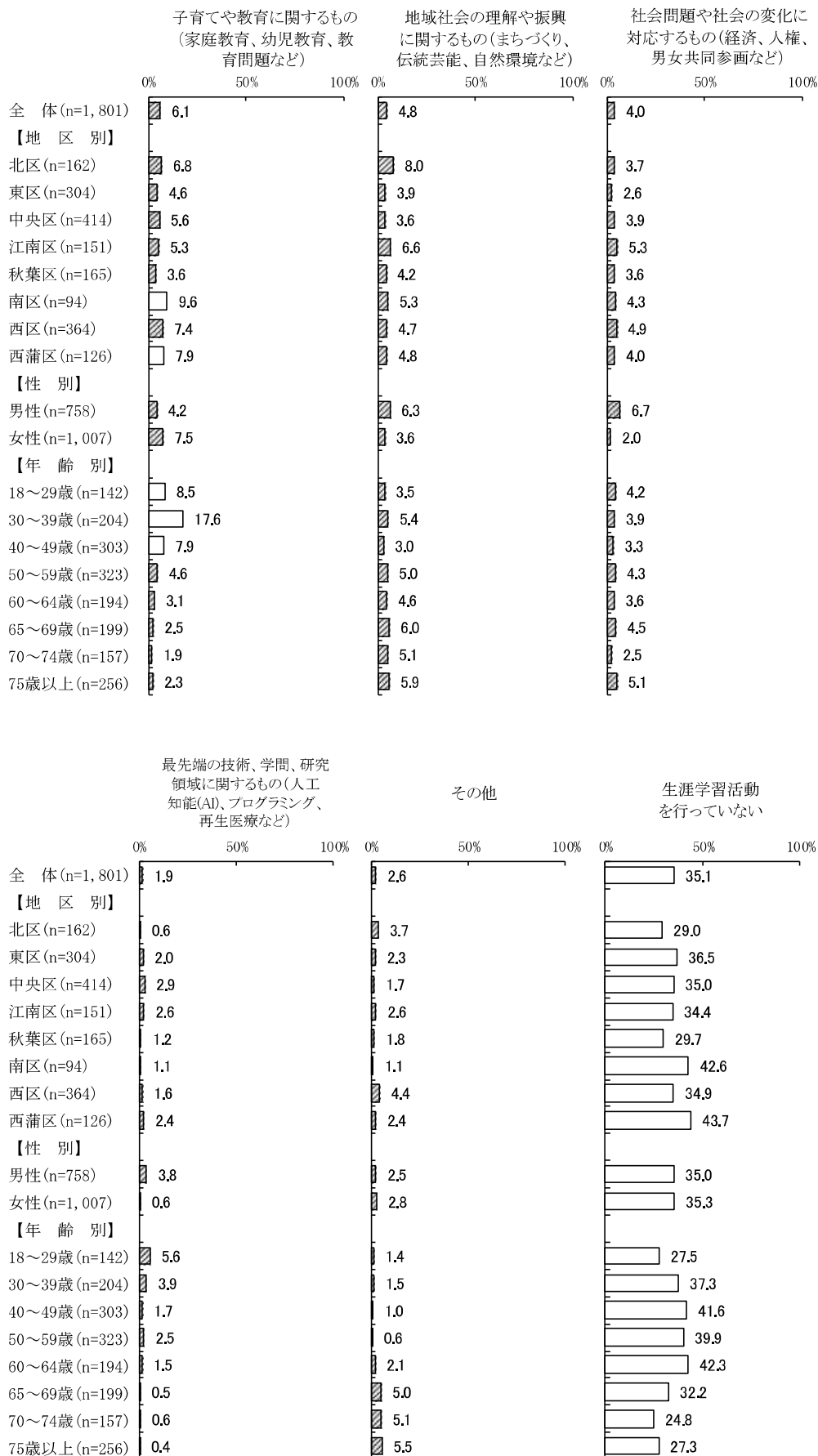
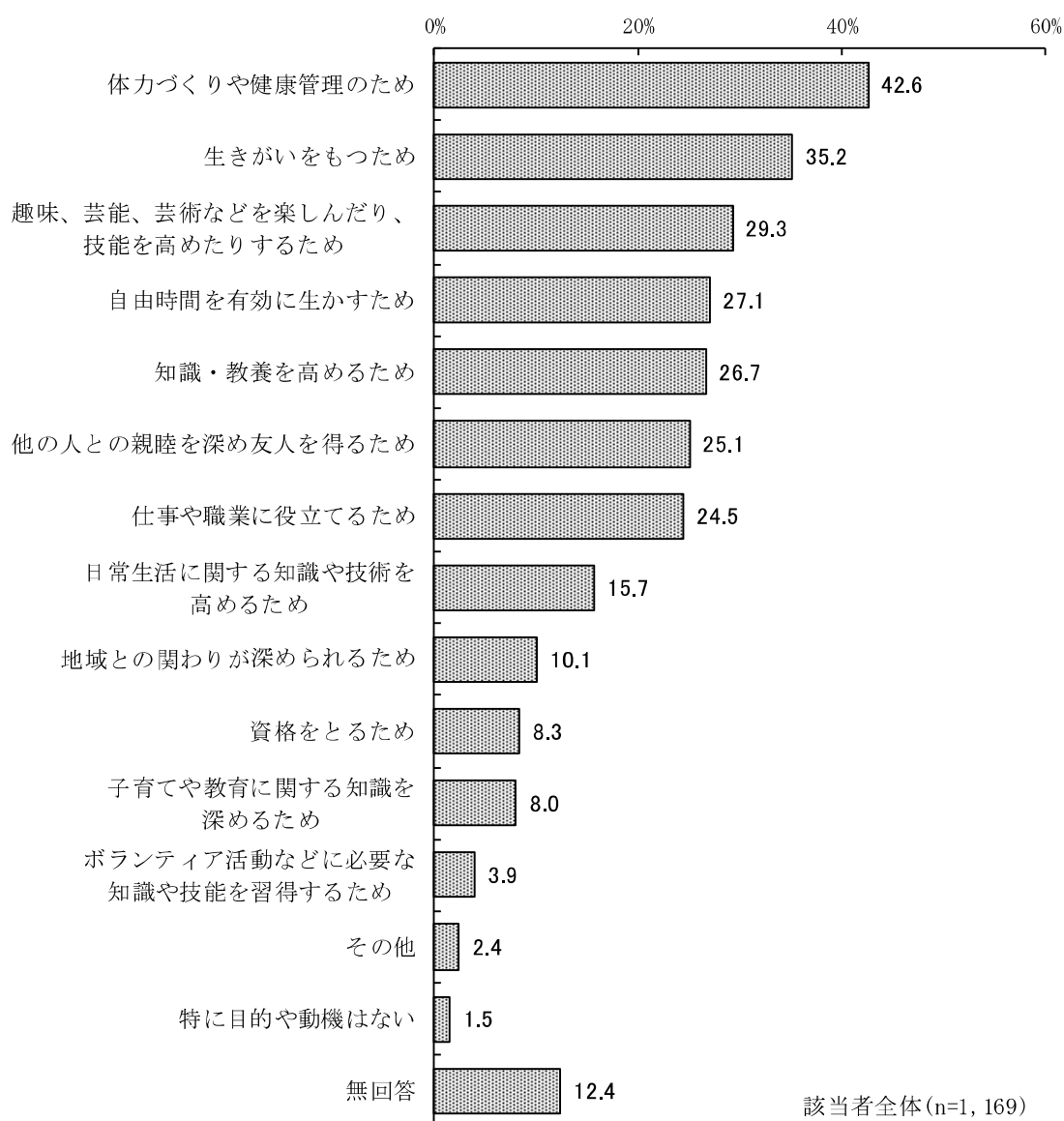


図3-1 行っている生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 2/2



## (2) 生涯学習活動を行う目的

問15 あなたが、生涯学習活動を行う目的や動機は何ですか。(〇はいくつでも)



「体力づくりや健康管理のため」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

### 【全体結果】

生涯学習を行う目的や動機については、「体力づくりや健康管理のため」(42.6%)の割合が最も高い。以下、「生きがいをもつため」(35.2%)が3割台で、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」(29.3%)、「自由時間を有効に生かすため」(27.1%)、「知識・教養を高めるため」(26.7%)、「他の人との親睦を深め友人を得るため」(25.1%)、「仕事や職業に役立てるため」(24.5%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-2 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「体力づくりや健康管理のため」については、南区（53.7%）の割合が最も高く、半数以上となっている。

### ② 性別

「知識・教養を高めるため」と「仕事や職業に役立てるため」の割合は、男性（それぞれ 32.7%、29.6%）の方が女性（それぞれ 22.5%、20.7%）よりも高くなっている。「自由時間を有効に生かすため」、「他の人との親睦を深め友人を得るため」、「子育てや教育に関する知識を深めるため」の割合は、男性（それぞれ 29.4%、28.5%、10.6%）が女性（それぞれ 24.3%、21.3%、4.7%）よりも高くなっている。

### ③ 年齢別

「自由時間を有効に生かすため」「仕事や職業に役立てるため」「資格をとるため」は 18～29 歳（それぞれ 33.0%、47.6%、20.4%）が、「知識・教養を高めるため」「子育てや教育に関する知識を深めるため」は 30 代（それぞれ 37.5%、26.6%）が、「体力づくりや健康管理のため」は 60～64 歳と 70～74 歳（それぞれ 52.7%、52.5%）が、「生きがいをもつため」は 60～64 歳と 70～74 歳（それぞれ 42.0%、42.4%）が、「趣味、芸能、芸術などを楽しんだり、技能を高めたりするため」は 60～64 歳（35.7%）が、「他の人との親睦を深め友人を得るため」は 65 歳以上が、それぞれ高くなっている。

一方、「特に目的や動機はない」では 30 代（3.9%）の割合がやや高くなっている。

図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 1/3

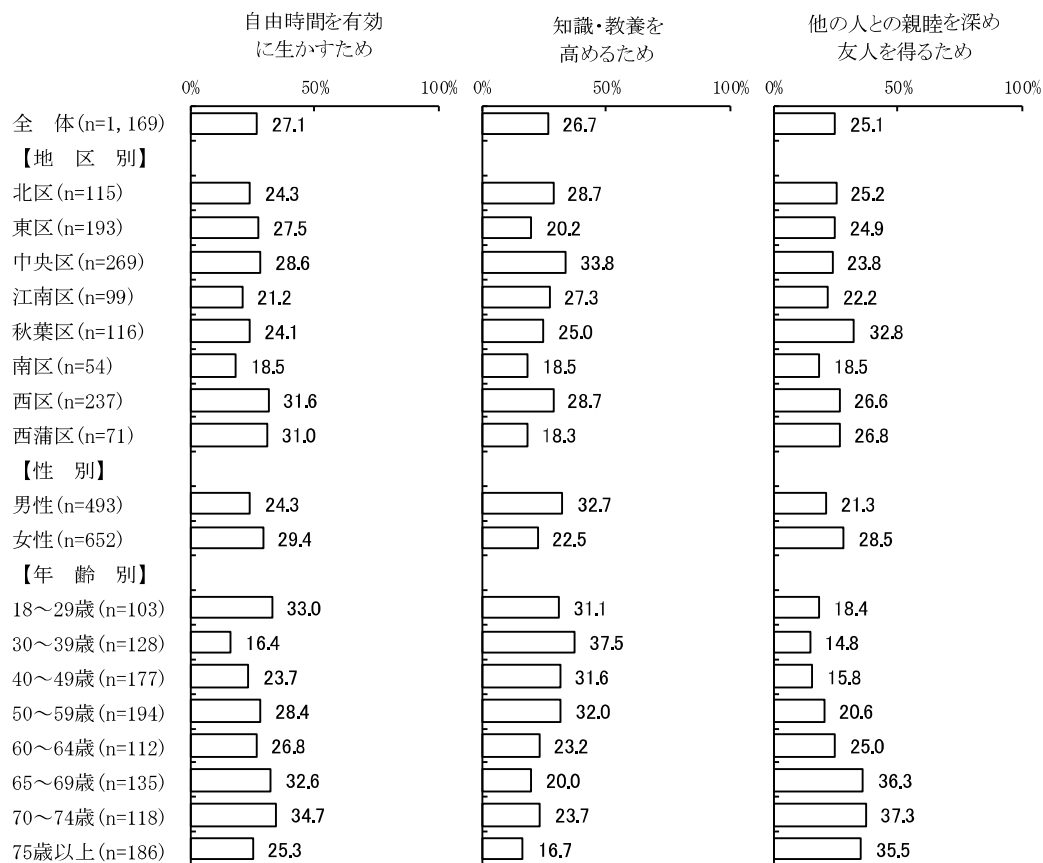
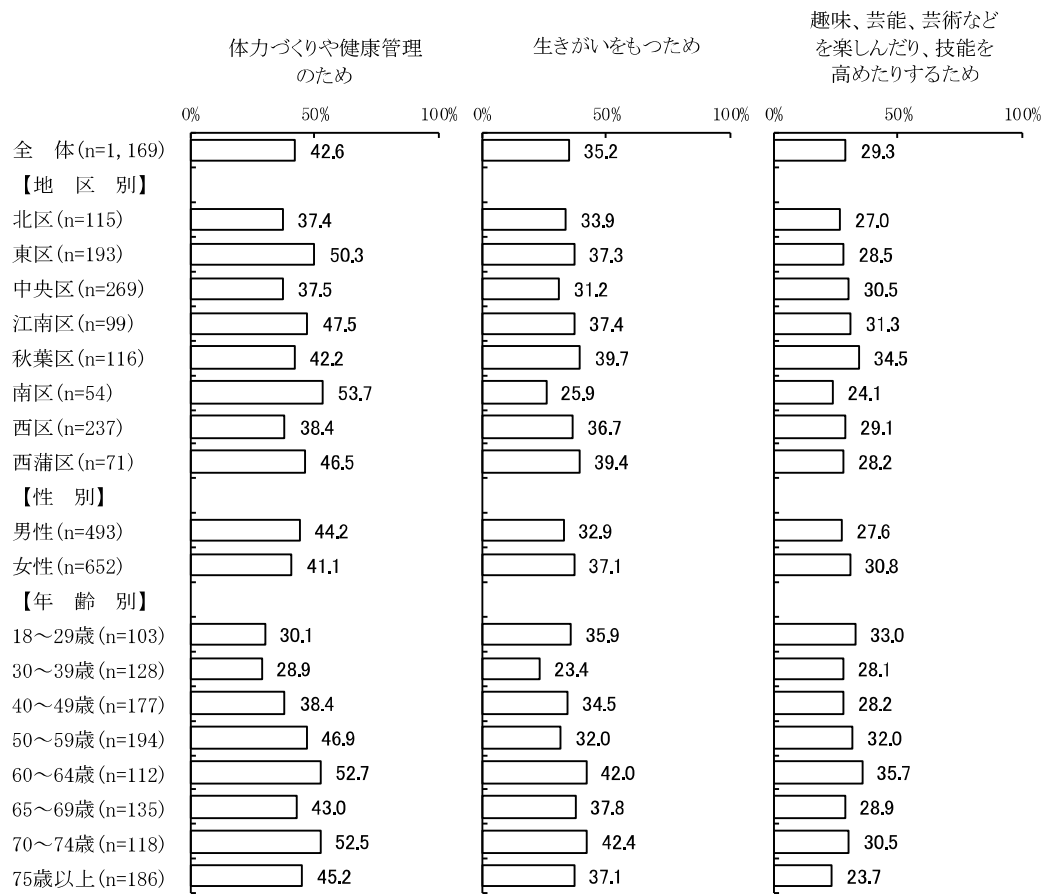


図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 2/3

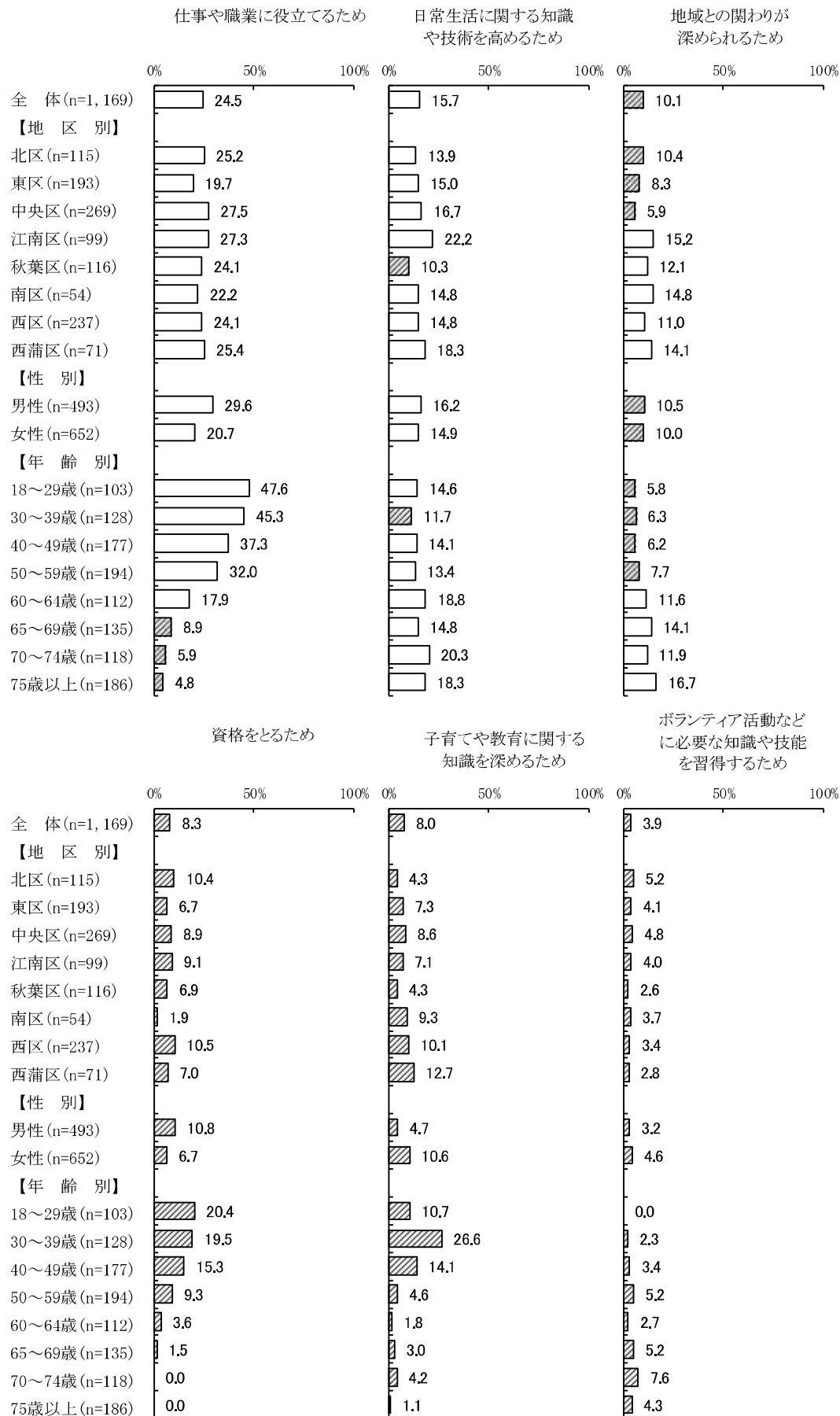
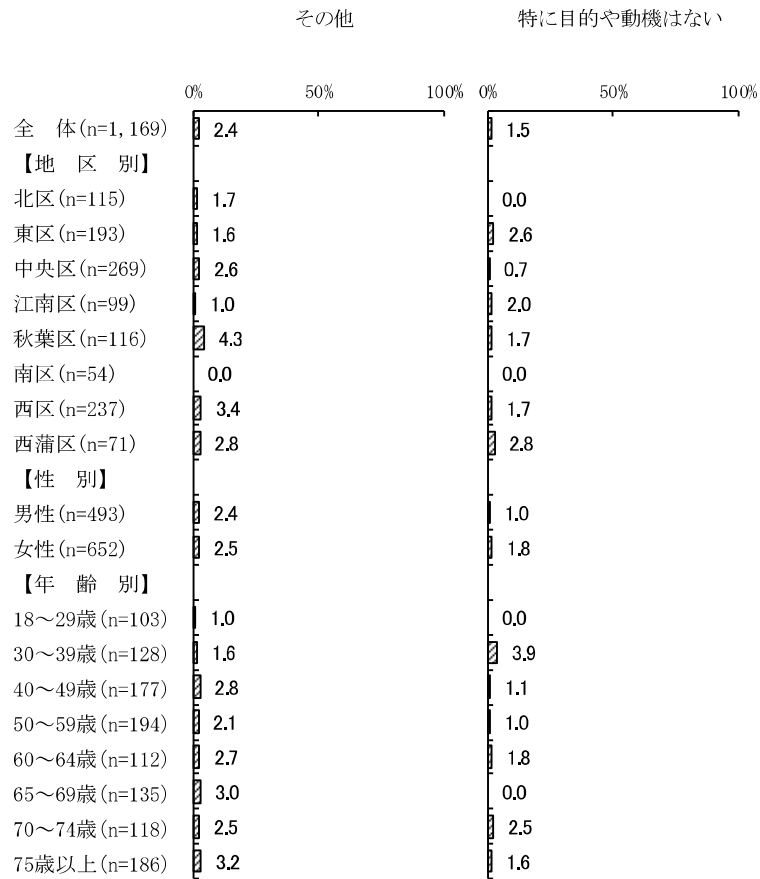
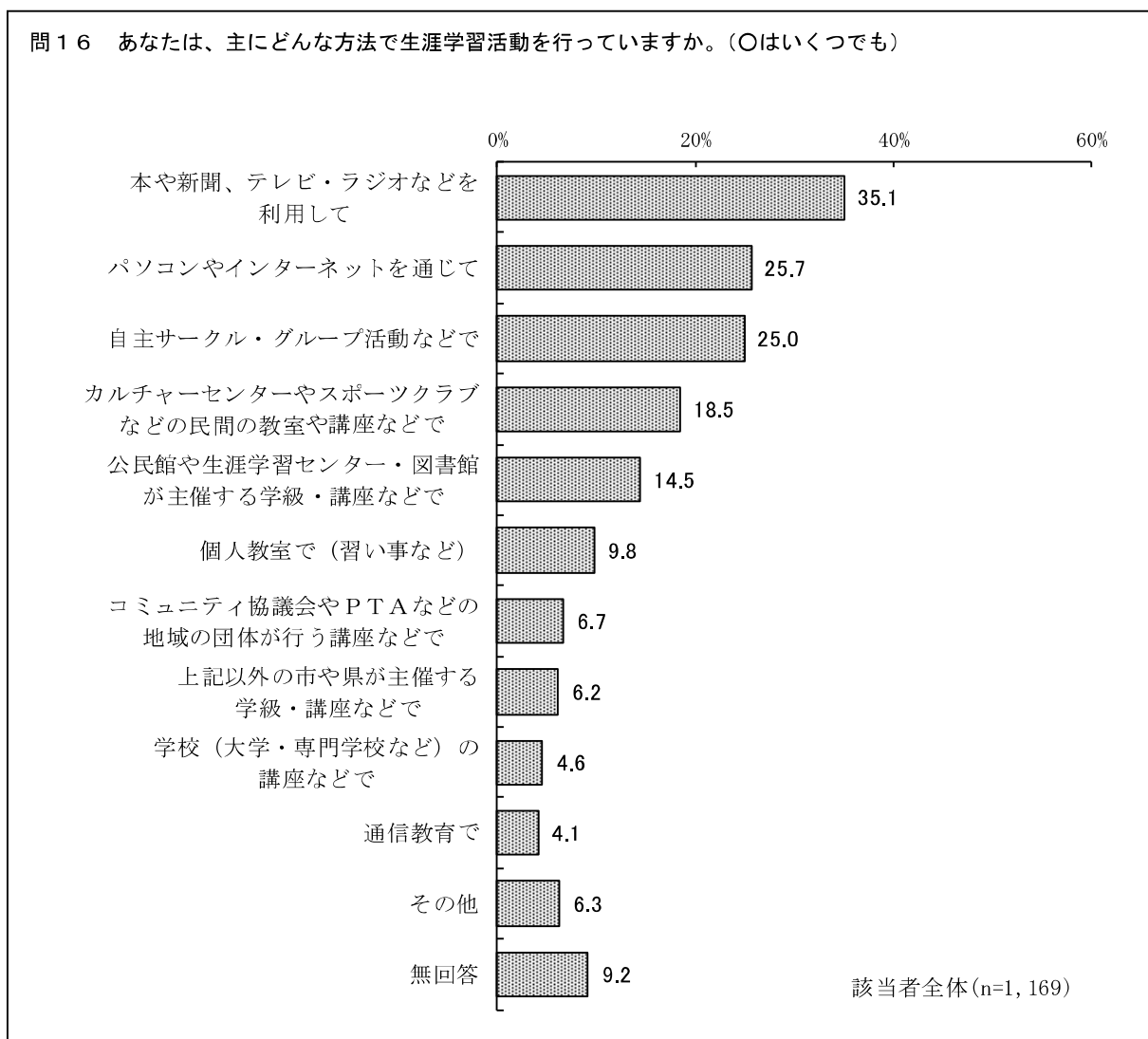




図3-2 生涯学習活動を行う目的（地区別／性別／年齢別） 3/3



### (3) 生涯学習活動を行う方法



「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

#### 【全体結果】

生涯学習活動を行う方法については、「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」(35.1%)の割合が最も高い。以下、「パソコンやインターネットを通じて」(25.7%)、「自主サークル・グループ活動などで」(25.0%)が2割台、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」(18.5%)、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」(14.5%)が1割台で続いている。

## 【属性別結果】(図 3-3 参照)

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」については、江南区(38.4%)の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」「パソコンやインターネットを通じて」では、男性(それぞれ40.6%、34.1%)が女性(それぞれ31.0%、19.8%)を上回っている。「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」、「個人教室で(習い事など)」では、女性(それぞれ24.2%、17.8%、13.8%)が男性(それぞれ11.2%、10.3%、4.5%)を上回っている。

### ③ 年齢別

「学校(大学・専門学校など)の講座などで」は18~29歳(19.4%)が、「本や新聞、テレビ・ラジオなどを利用して」「パソコンやインターネットを通じて」は30代(それぞれ39.1%、53.1%)が、「自主サークル・グループ活動などで」「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座などで」は60~64歳(それぞれ31.3%、30.4%)が、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座などで」は65歳以上が2割台、それぞれ高くなっている。

図3-3 生涯学習活動を行う方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

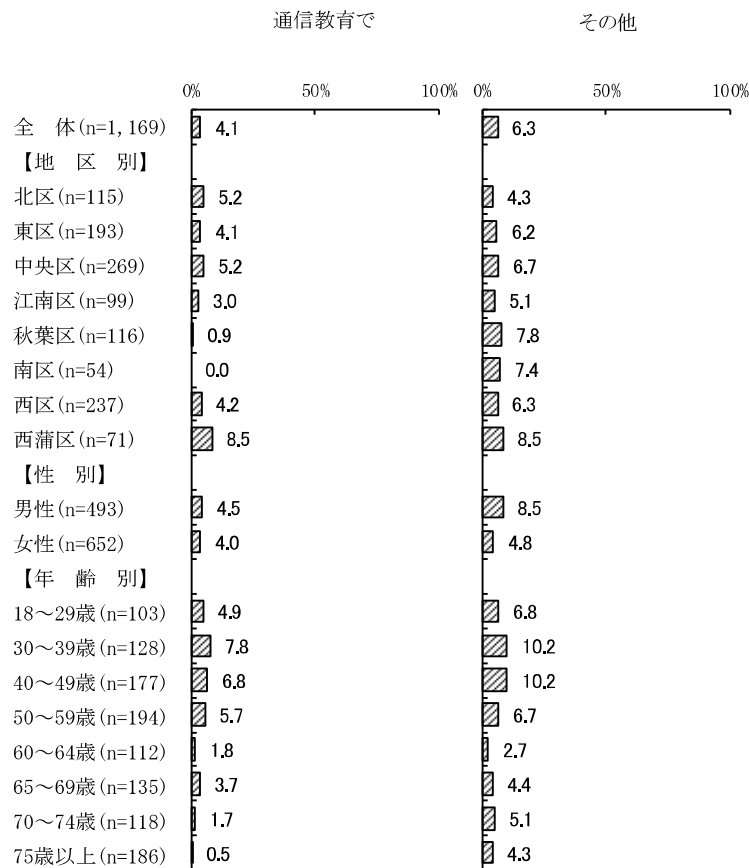
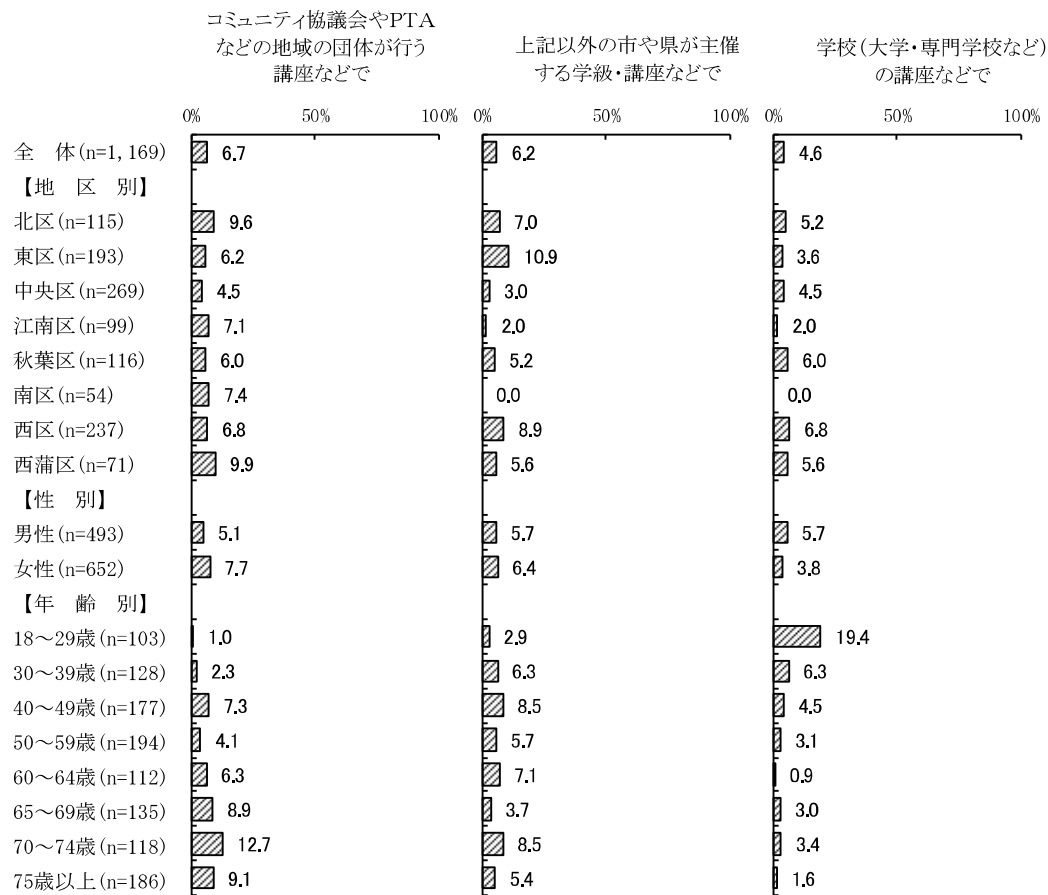
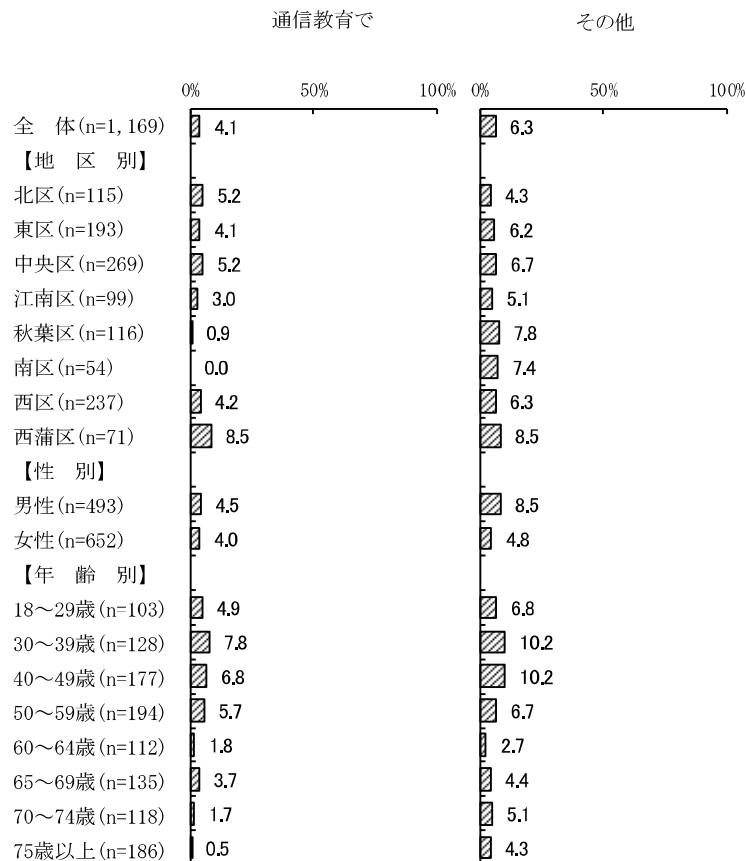
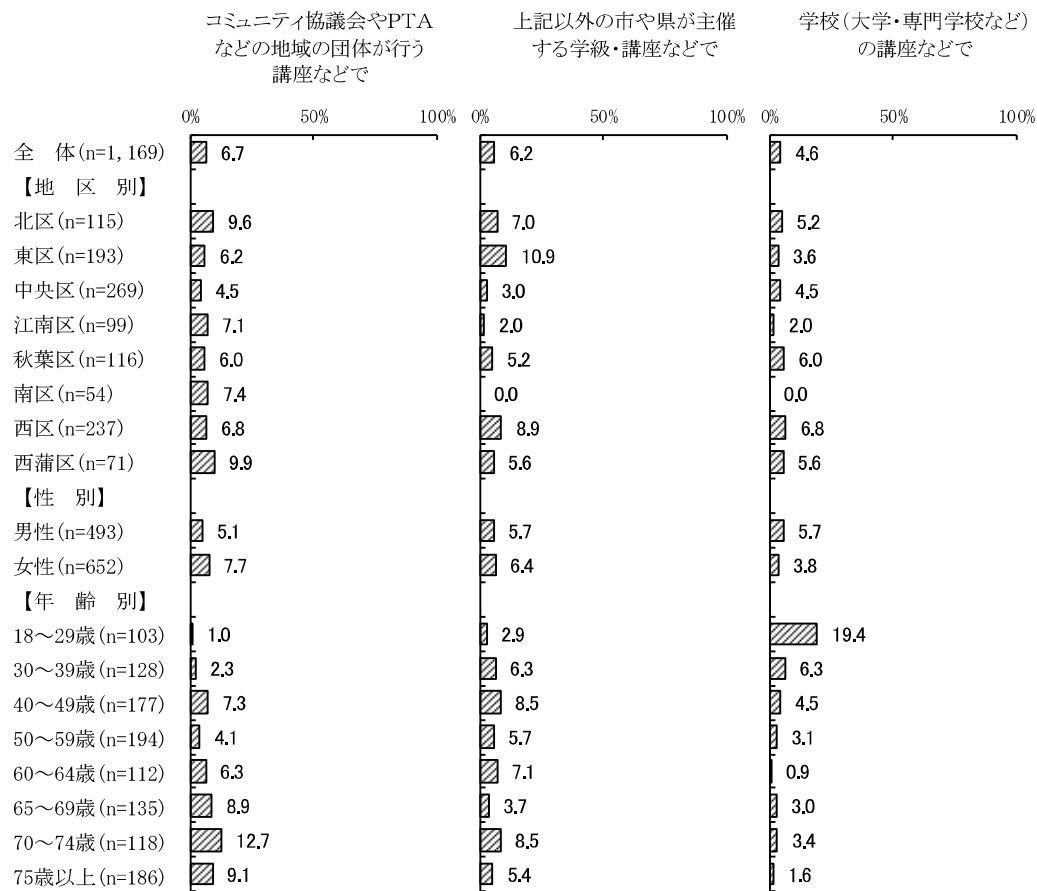
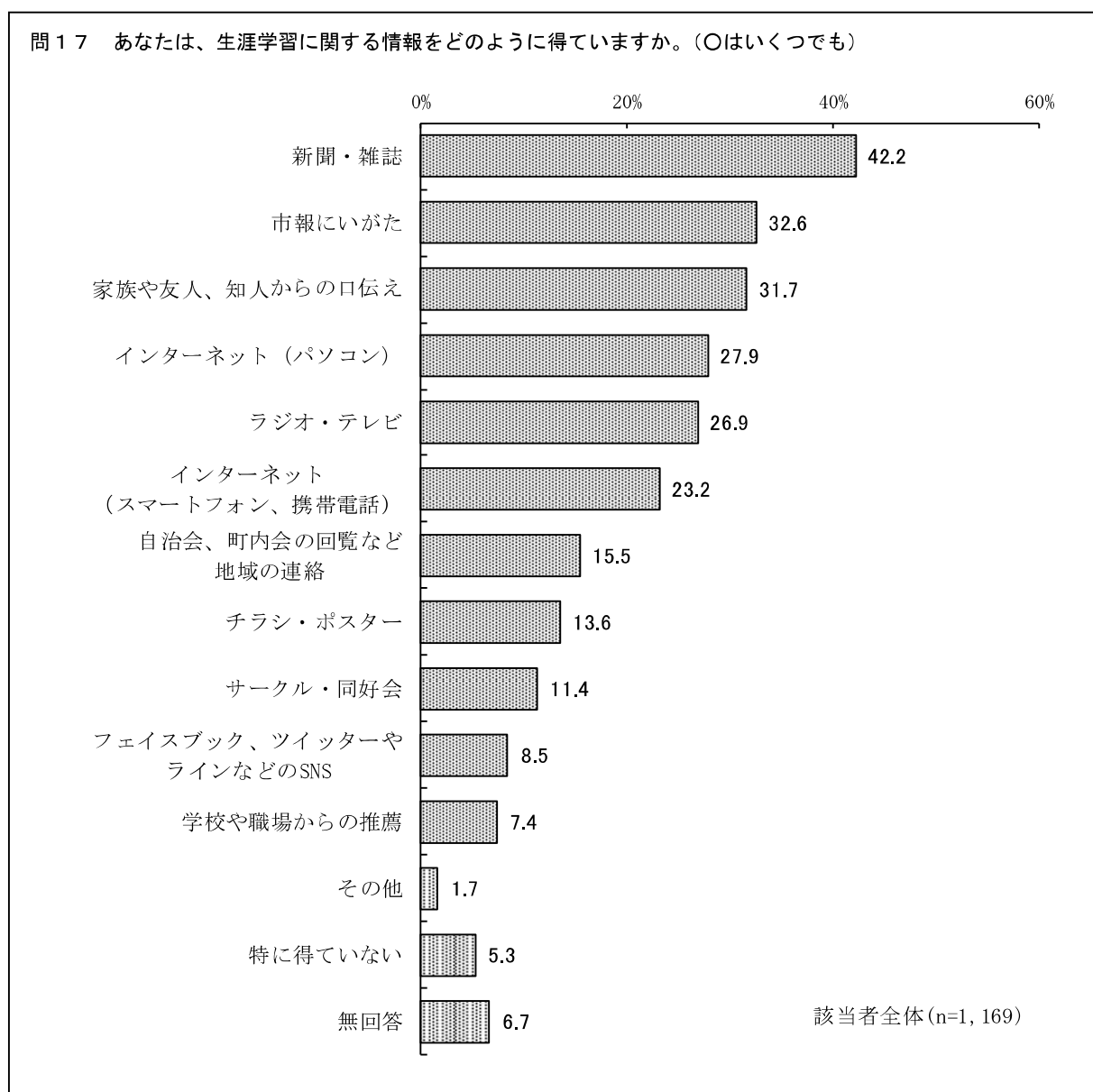


図3-3 生涯学習活動を行う方法（地区別／性別／年齢別） 2/2



#### (4) 生涯学習に関する情報の入手方法



#### 「新聞・雑誌」と回答が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

#### 【全体結果】

生涯学習に関する情報の入手方法については、「新聞・雑誌」(42.2%)の割合が最も高く、4割を超えている。次いで、「市報にいがた」(32.6%)、「家族や友人、知人からの口伝え」(31.7%)が3割台、「インターネット(パソコン)」(27.9%)、「ラジオ・テレビ」(26.9%)、「インターネット(スマートフォン、携帯電話)」(23.2%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】（図 3-4 参照）

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「新聞・雑誌」については、中央区（45.0%）の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「市報にいがた」「家族や友人、知人からの口伝え」「チラシ・ポスター」では、女性（それぞれ 39.3%、37.3%、16.6%）が男性（24.1%、24.5%、9.7%）を上回っている。「インターネット（スマートフォン、携帯電話）」では、男性（37.9%）が女性（20.2%）を大きく上回っている。

### ③ 年齢別

「インターネット（パソコン）」「インターネット（スマートフォン、携帯電話）」は 40 歳以下が高く、また、「フェイスブック、ツイッターやラインなどの SNS」「学校や職場からの推薦」は 30 歳以下が高く、他年齢層を大きく上回っている。一方、「新聞・雑誌」「市報にいがた」「自治会、町内会の回覧など地域の連絡」は 65 歳以上が、他年齢層よりも高くなっている。

一方、「特に得ていない」では 30 代（9.4%）の割合がやや高くなっている。

図3-4 生涯学習に関する情報の入手方法（地区別／性別／年齢別） 1/3

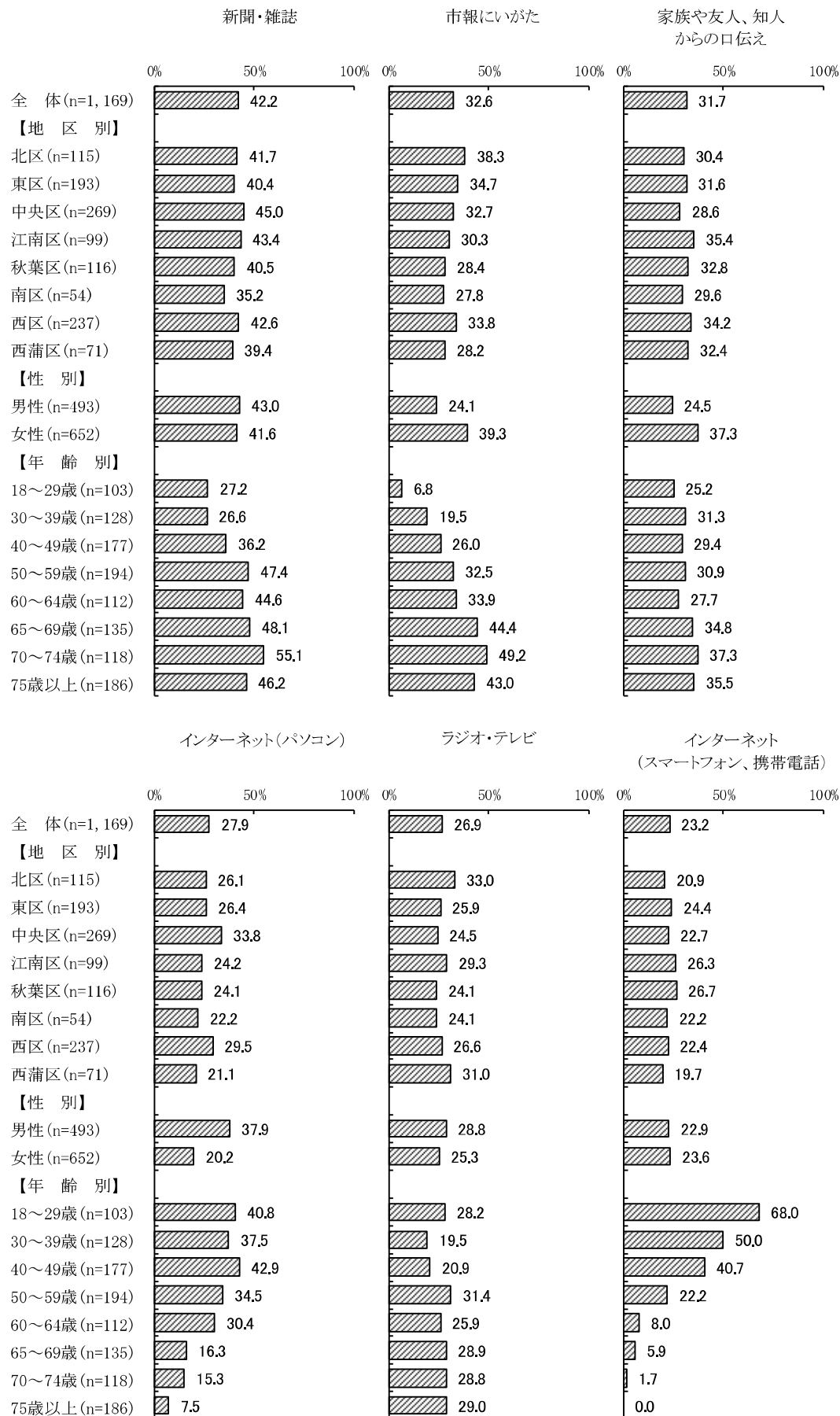
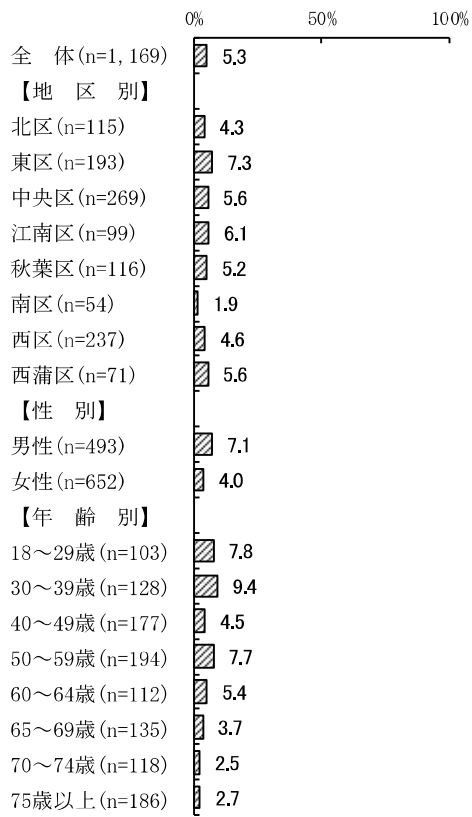




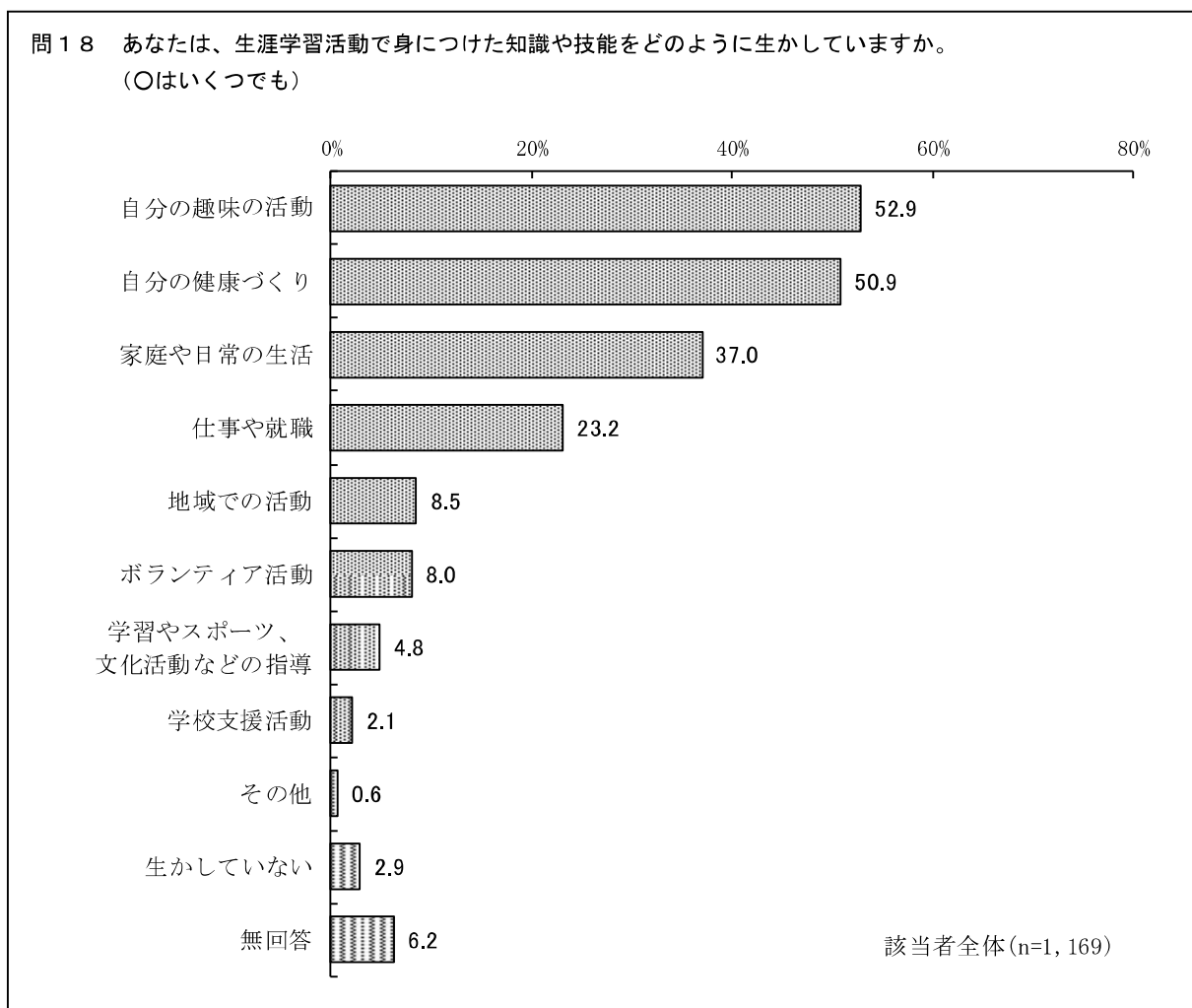


図3-4 生涯学習に関する情報の入手方法（地区別／性別／年齢別） 3/3

特に得ていない



### (5) 生涯学習活動で身につけた知識について



— 「自分の趣味の活動」「自分の健康づくり」へ生かしていることが半数以上 —

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

#### 【全体結果】

生涯学習活動で身につけた知識を「自分の趣味の活動」(52.9%)に生かしていることが多く、半数以上となっている。これに「自分の健康づくり」(50.9%)が僅差が続いている。以下、「家庭や日常生活」(37.0%)が3割台、「仕事や就職」(23.2%)が2割台となっている。

### 【属性別結果】（図 3-5 参照）

#### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「自分の趣味の活動」については、東区（57.5%）の割合が最も高くなっている。また、「自分の健康づくり」では、南区（63.0%）の割合が高く、6割を超えている。

#### ② 性別

「自分の趣味の活動」、「仕事や就職」、「学習やスポーツ、文化活動などの指導」では、いずれも男性（58.4%、28.2%、8.1%）が女性（48.5%、19.6%、2.3%）を上回り、「家庭や日常の生活」と「仕事や就職」では、いずれも女性（53.5%、42.3%）が男性（47.5%、30.2%）を上回っている。

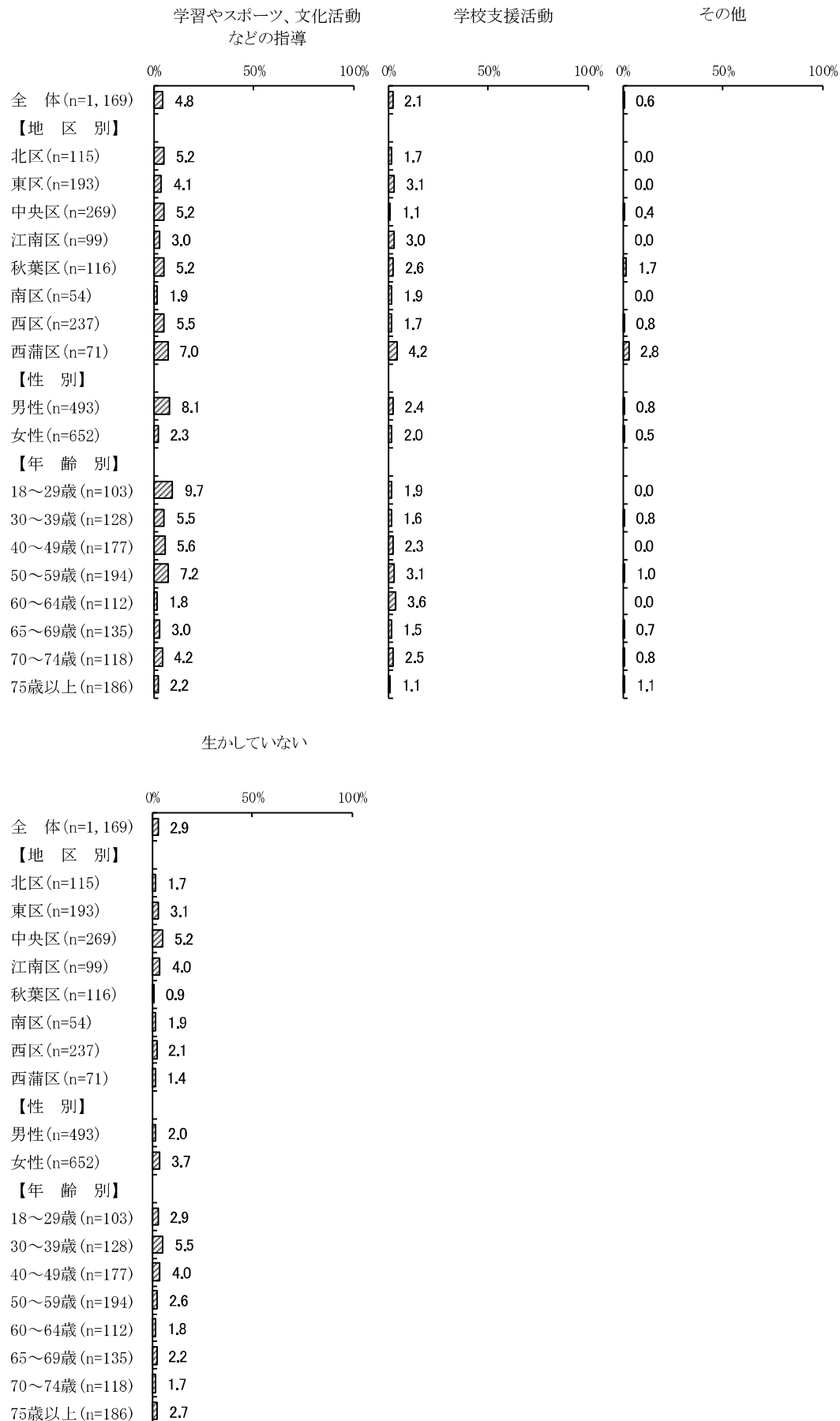
#### ③ 年齢別

「自分の趣味の活動」は18～29歳（68.0%）の割合が最も高く、「仕事や就職」は40代以下が高く、中でも30代（47.7%）では4割台となっている。一方、「自分の健康づくり」の割合は60歳以上が6割を超え、他年齢層を大きく上回っている。

一方、「生かしていない」では30代（5.5%）の割合がやや高くなっている。

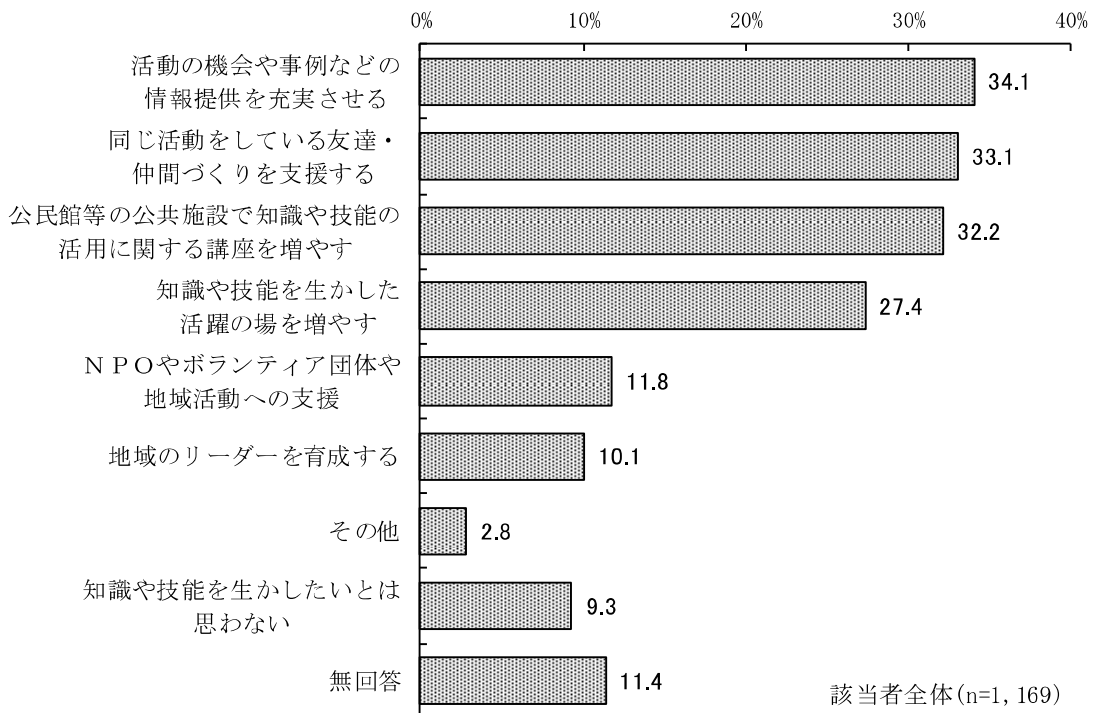


図3-5 生涯学習活動で身につけた知識について（地区別／性別／年齢別） 2/2



(6) 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと

問19 市は、学習成果を生かす循環型生涯学習を推進しており、学習したことや技能を生かす生涯学習ボランティアに関心がある方を対象に、入門講座等を開催しています。あなたがこれまで学んだ知識や技能をボランティア活動・学校支援や地域活動に生かすために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」が最も多い

問14で、いずれかの生涯学習を行っているとは回答した1,169人への質問である。

【全体結果】

生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきことについては、「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」(34.1%)の割合が最も高くなっている。以下、「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」(33.1%)、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」(32.2%)が3割台、「知識や技能を生かした活躍の場を増やす」(27.4%)が2割台で続いている。

## 【属性別結果】(図 3-6 参照)

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」については、中央区(38.7%)の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」は男性(37.7%)が女性(29.8%)を上回り、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」では女性(35.9%)が男性(27.4%)を上回っている。

### ③ 年齢別

「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」は40代以下が高く、4割前後を占めている。「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」は30代以下と65~69歳が高く、4割前後を占めている。「知識や技能を生かした活躍の場を増やす」は40代以下が高く、3割台となっている。「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を増やす」「NPOやボランティア団体や地域活動への支援」は60~64歳(それぞれ41.1%、16.1%)が、「地域のリーダーを育成する」は65~69歳と70~74歳(それぞれ15.6%、15.3%)が、それぞれ高くなっている。

一方、「知識や技能を生かしたいとは思わない」では、60~64歳の割合が最も高くなっている。



図3-6 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと（地区別／性別／年齢別）

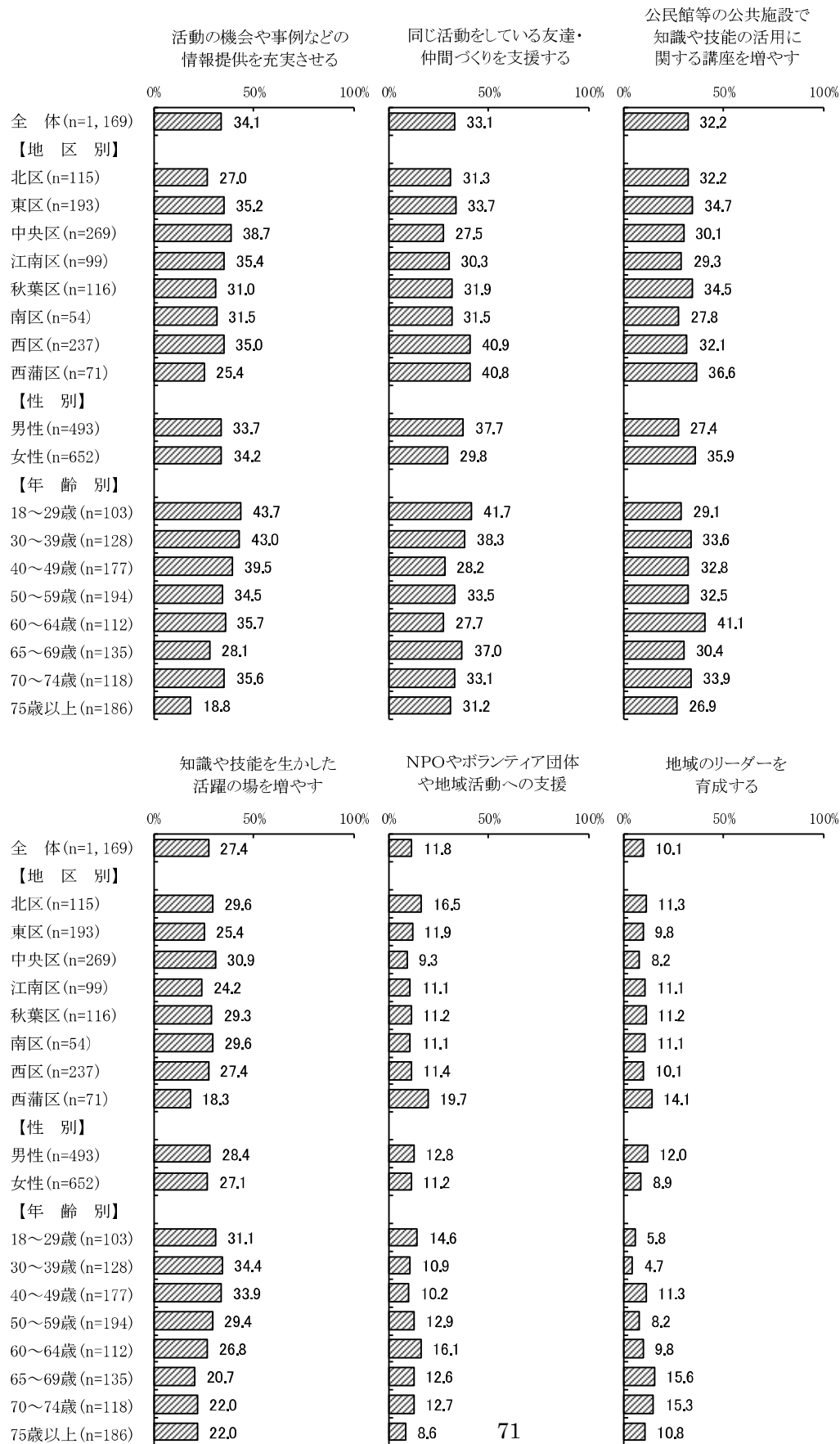
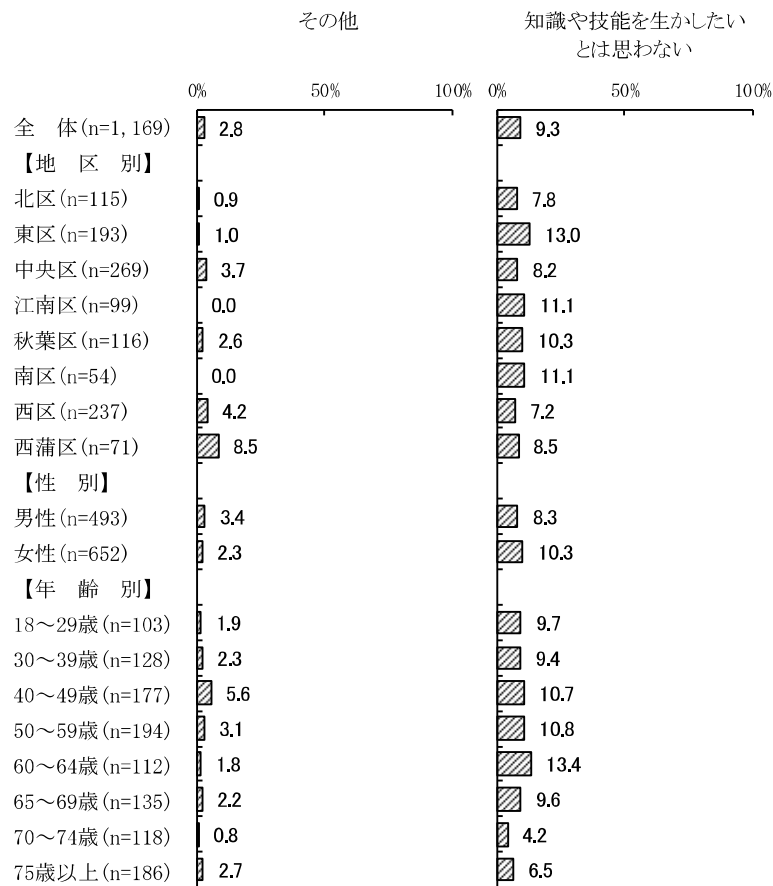


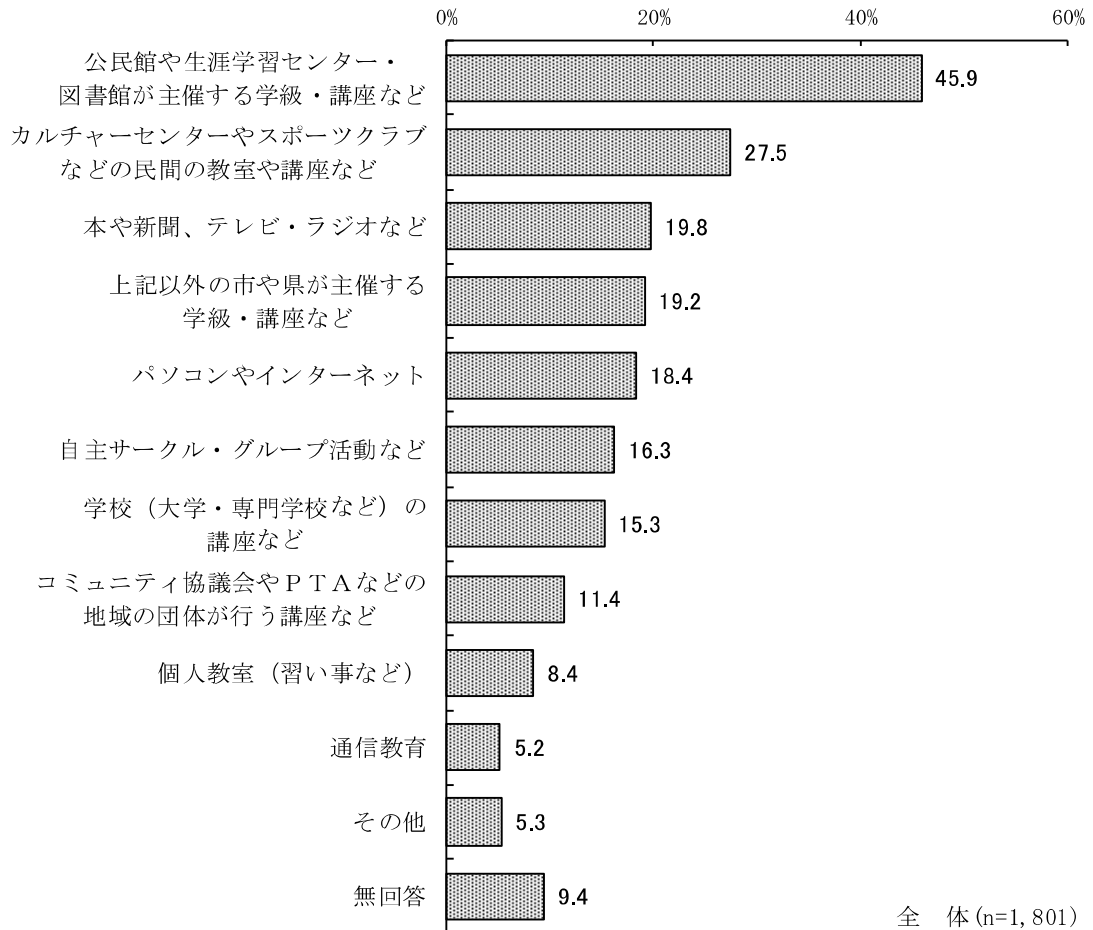
図3-6 生涯学習で学んだ知識を生かすために、市が力を入れるべきこと（地区別／性別／年齢別）

2/2



(7) 充実してほしい学習の場や学習方法

問20 新潟市において、どのような学習機会の場や学習方法が充実すればよいと思いますか。  
(〇はいくつでも)



— 「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」が最も多い —

【全体結果】

新潟市に充実してほしい学習機会の場や学習方法については、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」(45.9%)の割合が最も高くなっている。以下、「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座など」(27.5%)が2割台、「本や新聞、テレビ・ラジオなど」(19.8%)、「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」(19.2%)、「パソコンやインターネット」(18.4%)、「自主サークル・グループ活動など」(16.3%)、「学校(大学・専門学校など)の講座など」(15.3%)、「コミュニティ協議会やPTAなどの地域の団体が行う講座など」(11.4%)が1割台で続いている。

## 【属性別結果】(図 3-7 参照)

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」については、西区(53.6%)の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」「個人教室(習い事など)」、いずれも女性が男性を上回っている。

### ③ 年齢別

「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の教室や講座など」「上記以外の市や県が主催する学級・講座など」「パソコンやインターネット」「自主サークル・グループ活動など」「学校(大学・専門学校など)の講座など」は18～29歳(それぞれ38.7%、26.8%、33.1%、20.4%、27.5%)が、「公民館や生涯学習センター・図書館が主催する学級・講座など」は60～64歳(54.1%)が、「コミュニティ協議会やPTAなどの地域の団体が行う講座など」は65～69歳(17.6%)が、「本や新聞、テレビ・ラジオなど」は70歳以上が、「個人教室(習い事など)」は18～29歳と75歳以上(それぞれ12.7%、12.5%)が、それぞれ高くなっている。

図3-7 充実してほしい学習の場や学習方法（地区別／性別／年齢別） 1/2

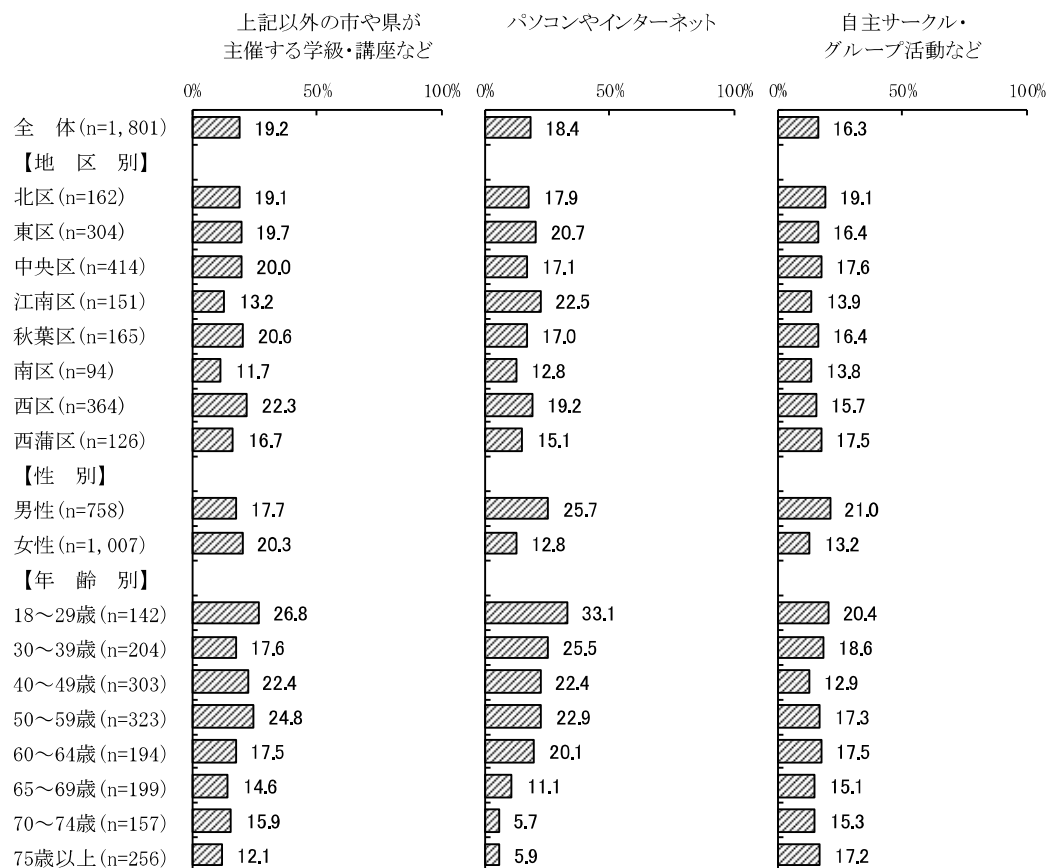
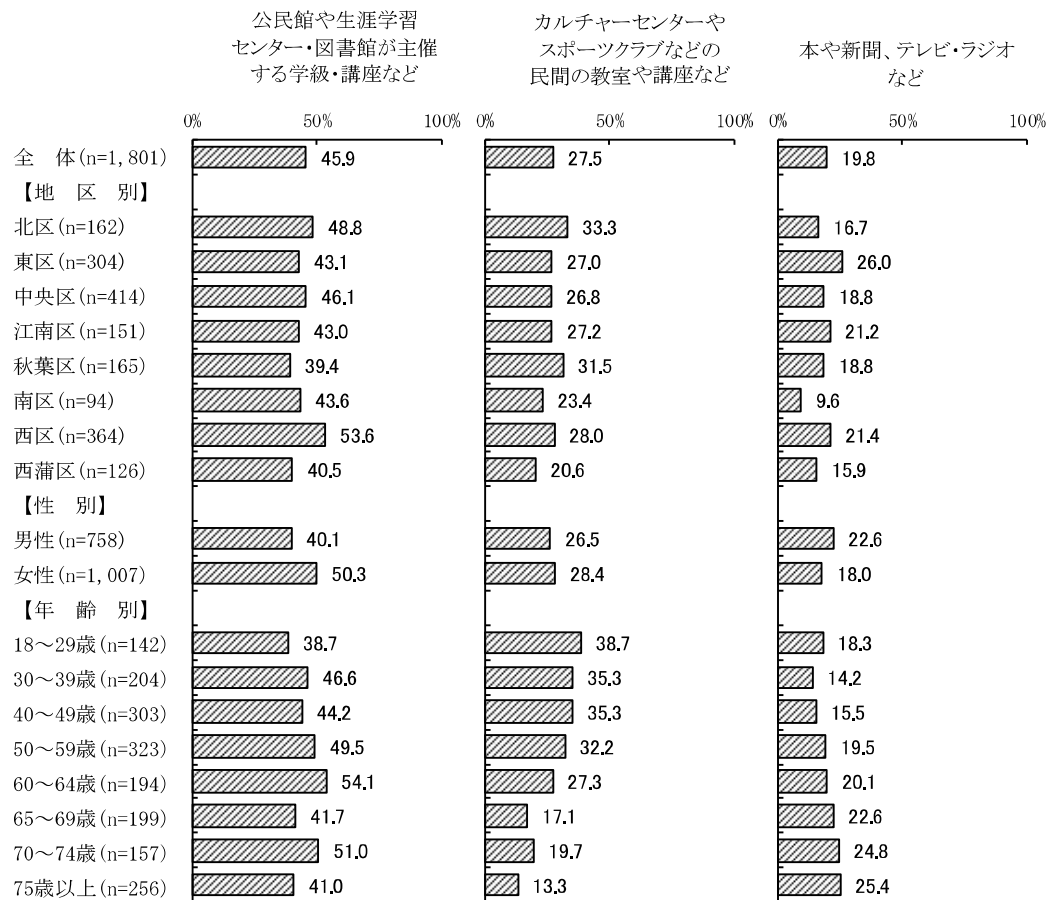
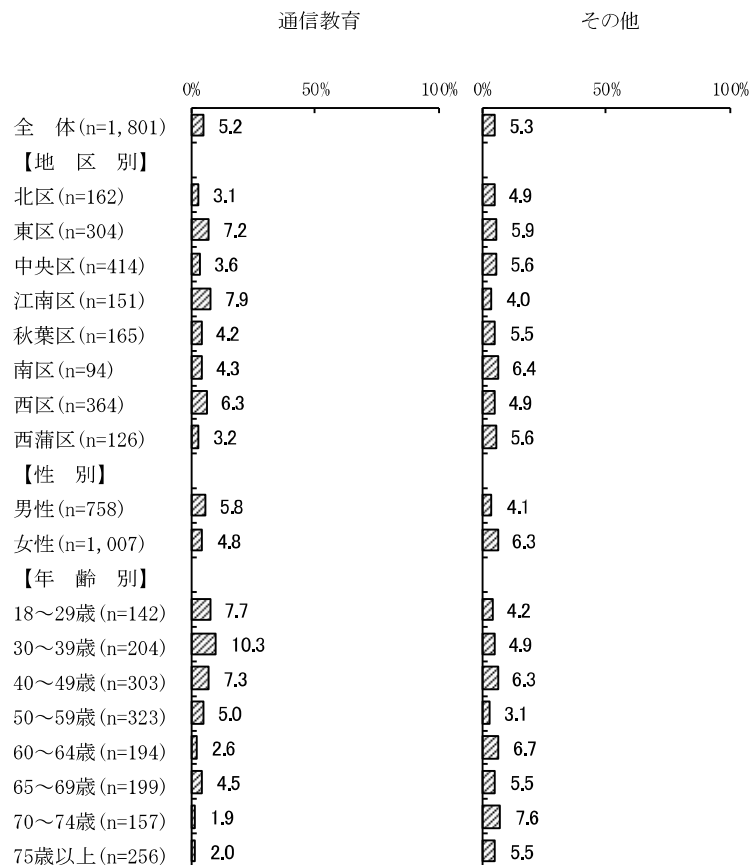
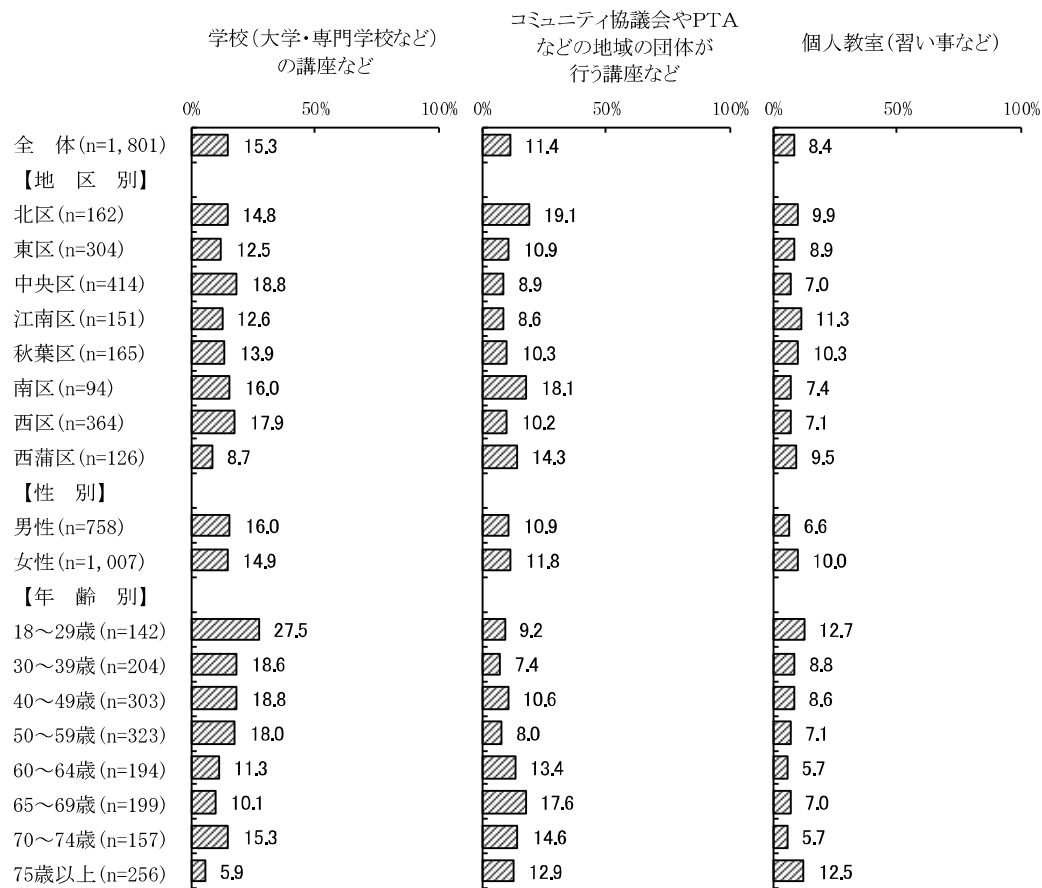


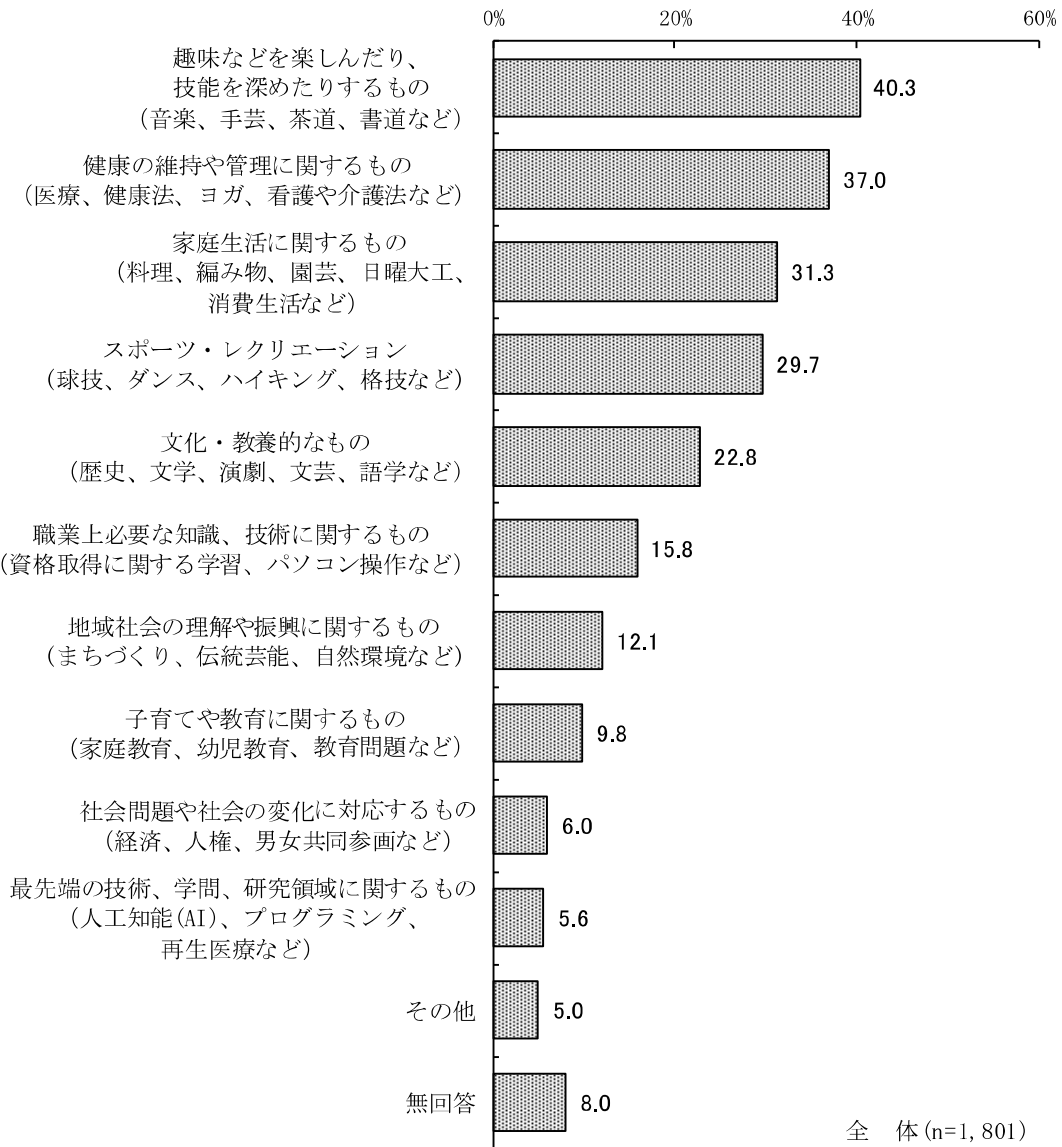
図3-7 充実してほしい学習の場や学習方法（地区別／性別／年齢別） 2/2



(8) 行ってみたい生涯学習活動

問21 あなたが、これから生涯学習活動として行ってみたいと思っていることはありますか。

(〇はいくつでも)



「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの」が約4割

【全体結果】

行ってみたい生涯学習活動については、「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの（音楽、手芸、茶道、書道など）」（40.3%）の割合が最も高くなっている。以下、「健康の維持や管理に関するもの（医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など）」（37.0%）、「家庭生活に関するもの（料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など）」（31.3%）が3割台、「スポーツ・レクリエーション（球技、ダンス、ハイキング、格技など）」（29.7%）、「文化・教養的なもの（歴史、文学、演劇、文芸、語学など）」（22.8%）が2割台で続いている。

## 【属性別結果】(図 3-8 参照)

### ① 地区別

全体結果で最も割合の高かった「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」については、秋葉区(43.6%)の割合が最も高くなっている。

### ② 性別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」、「健康の維持や管理に関するもの(医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など)」、「家庭生活に関するもの(料理、編み物、園芸、日曜大工、消費生活など)」、「子育てや教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)」では、いずれも女性が男性を5ポイント以上上回っている。「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」と「地域社会の理解や振興に関するもの(まちづくり、伝統芸能、自然環境など)」では、いずれも男性が女性を5ポイント以上上回っている。

### ③ 年齢別

「趣味などを楽しんだり、技能を深めたりするもの(音楽、手芸、茶道、書道など)」「スポーツ・レクリエーション(球技、ダンス、ハイキング、格技など)」「最先端の技術、学問、研究領域に関するもの(人工知能(AI)、プログラミング、再生医療など)」は18~29歳(それぞれ58.5%、46.5%、12.0%)が、「子育てや教育に関するもの(家庭教育、幼児教育、教育問題など)」は30代(26.5%)が、「職業上必要な知識、技術に関するもの(資格取得に関する学習、パソコン操作など)」は40代以下が、「文化・教養的なもの(歴史、文学、演劇、文芸、語学など)」は50代(29.4%)が、「健康の維持や管理に関するもの(医療、健康法、ヨガ、看護や介護法など)」「地域社会の理解や振興に関するもの(まちづくり、伝統芸能、自然環境など)」は65~69歳(それぞれ41.7%、17.1%)が、それぞれ高くなっている。



図3-8 行ってみたい生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 1/2

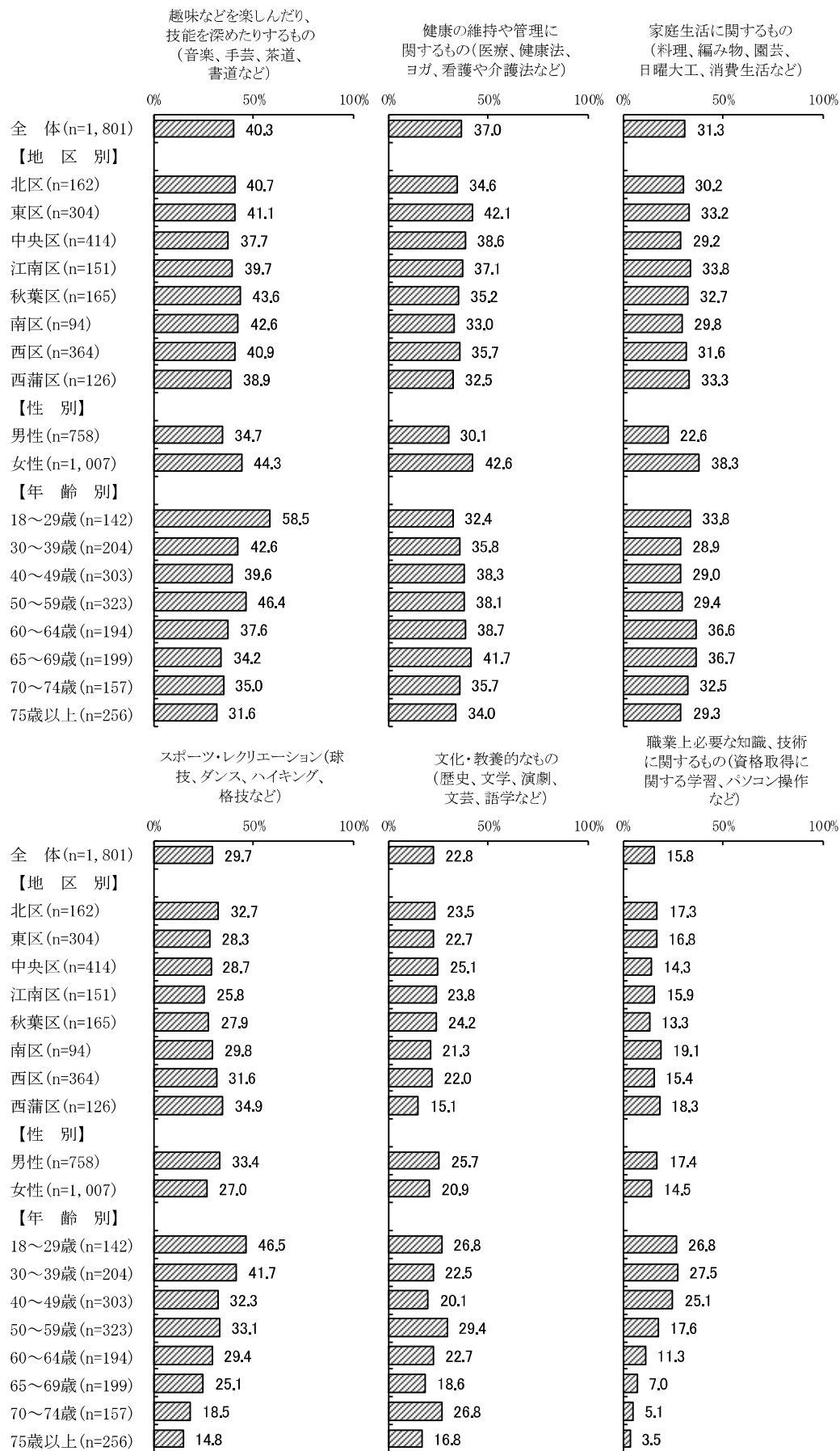


図3-8 行ってみたい生涯学習活動（地区別／性別／年齢別） 2/2

